

第七十九回
帝國議會
貴族院

南方開發金庫法案特別委員會會議事速記録第二號

昭和十七年二月三日(火曜日)午前十時九分開會

委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ只今

カラ委員會ヲ開會致シマス、最初ニ帝國礦業開發株式會社法中改正法律案、之ヲ議題ニ致シマス、昨日政府ノ方ノ説明ハ終リマシタノデアリマスルカラ、直チニ質疑ニ移リタイト思ヒマス、何カ御質疑ハゴザイマセヌデセウカ

○子爵保科正昭君 私一ツ伺ヒタイコトガアルノデスガ、此ノ帝國礦業開發株式會社ガ今議題トナツテ居リマスルガ、尙之ニ續キマシテ、第二ノ帝國燃料興業株式會社モ議題ニナルコトデアラウト思ヒマスルカラ、其ノ最後ニ伺フモ宜イノデアリマスガ、斯ウ云フ風ナ帝國礦業株式會社ハ、昭和十四年法律ガ出來マシテカラ今日迄、相當ナ年月運用致シテ居リマスガ、今日此ノ増資ニナル必要ト云フモノハ、昨日伺フタノデアリマシテ、大體ヲ拜承致シマシタガ、サテ今迄ノ經營ノ利益、決算其ノ外ノ點ニ於キマシテドウ云フコトニナツテ居リマスガ、ソレヲ伺フテ成ル程増資ノ必要性ガアルト云フコトガ分レバ、大變幸ダト思フノデアリマス、此ノ營業成績ト云フモノニ付キマシテ、モウ少シ損益ノ所ヲ伺ヒタイノデゴザイマス

○國務大臣(岸信介君) 帝國礦業開發株式會社ガ設立サレマシテカラ今迄ノ營業成績ハ、此ノ會社ガ初メ出來マシタ趣旨ガ、日本ニ於テ從來開發ヲ見テ居ラナカッタヤウナ低品位ノモノデアルトカ、或ハ其ノ他一般金

融機關ニ於キマシテハ、金融ヲナカシメテ依ツテ是等ノ山ノ開發ヲ促進スルコト云フヤウナ仕事ヲ目的トシテ居リマスノデ、此ノ會社ハ設立以來ズツト赤字ニナツテ居リマシテ、營業成績ト致シマシテハ、第一營業年度ガ政府カラ五十二萬圓ノ補助金ヲ與ヘタ、是ハ昭和十四年八月カラ昭和十五年三月三十一日迄ノ營業年度デゴザイマスガ、五十二萬圓ノ補助金ヲ致シテ居リマス、第二營業年度ハ十五年四月一日カラ十五年九月三十日迄デスガ、四十二萬圓ノ補助金ヲ致シテ居リマス、ソレカラ第三營業年度タル十五年十月一日カラ十六年三月三十一日迄ニ三十四萬圓ノ補助金ヲ致シテ居リマス、ソレカラ第四營業年度タル十六年四月一日カラ同年九月三十日迄ニハ六十一萬圓ノ補助金ヲ致シテ居リマス、計百九十四萬圓バカリノ補助金ヲ致シテ居リマス、昭和十七年度ノ豫算額トシマシテハ第五營業年度タル十六年十月一日カラ十七年三月三十一日迄ノ間ニ八十八萬圓ノ補助金ヲ與ヘテ居リマス、第六營業年度ニ於テハ百五十五萬圓ノ補助金ヲ大體豫定シテ居リマス、營業トシマシテハ、此ノ營業ノ所謂收益關係ハサウ云フ風ニナツテ居リマス、而シテ此ノ會社ガ今日迄投資、融資等ヲ致シマシタ狀況ハ、御配理シテアル資料ニアルト思ヒマスガ、約一億ニ上ツテ居リマス、今日ノ狀況カラ申シマス、昨日御説明申上ゲマシタ通り、大體現在ノ資本金ト、ソレカラ拂込ノ五倍ニ當ル社債

ニ付キマシテモ、其ノ内五千萬圓ハ既ニ發行済デアリマスシ、アトノ一千萬圓モ今年ノ三月迄ニ出スト云フコトニナツテ居リマシテ、此ノ上事業ヲ擴大シテ行キマスニハ、ドウシテモ増資ヲ必要トスルト云フ狀況デアリマス

○中山太一君 チョット御尋ネシタイノデスガ、此處ニ「帝國礦業開發株式會社」現況ト云フ書類ガアリマス、其ノ中ノ括弧ハ「試料採取場ノ經營」ト云フコトガアリマス、此處ニ掲ゲテアリマス十箇所ハ此ノ會社ガ直接經營スルコトニナツテ居ルノデアリマセウカ、ドウデスカ

○國務大臣(岸信介君) 是ハ會社ガ直接經營スルコトニナツテ居リマス

○中山太一君 其ノ礦業開發ニ非常ニ力ヲ入レラレルコトハ、此ノ時局下極メテ適當ナコトデアルト存ジマス、更ニ此ノ鑛石製鍊ニ伴ツテ、相當必要ナ資材ガ廢物トナツテ居ル點ガ多クアルヤウデアリマス、例ヘバ四阪島ノ住友鑛業ニ於テ「ノロ」トシテ海ニ捨テラレテ居ルモノガ、殆ド何千萬「トン」カ、何百萬「トン」カ、相當額ニ上ツテ居ルヤウデゴザイマス、是ハ鐵ノ含有量ガ四十「パーセント」位アルヤウニ聞イテ居リマスガ、斯ウ云フモノノ活用ハ、更ニ採掘ヲ新タニスル物以外ニ、何カ政府デ御考ヘ願ヘバ、此ノ資源ノ不足、殊ニ鐵材ノ不足ノ時ニ役ニ立ツヤウニ思ハレマス、又研究ノ結果ハ、是カラ立派ニ良イ鐵ガ得ラレルト云フコトデアリマスカラ、之ニ對シテハ相

當ニ政府デハ補助シテ、又ハサウ云フモノヲ活カス爲ノ設備ニ對シテハ、犧牲ヲ拂ッテデモ御配慮願ヘバ、アノ大キナ資材ガ海ニ捨テテアルト云フモノヲ活用スルコトガ出來レバ、實ニ此ノ際意義ノ有ルコトノヤウニ思ハレマスルガ、御當局ノ御考ヘ如何デアリマセウカ

○國務大臣(岸信介君) 從來ノ此ノ製鍊ノ技術等カラ、相當尙利用出來ル部分ガ捨テラレテ居ル關係モ、各種製鍊ニ關係シテ、今御指摘ノヤウニアラウト思ヒマス、從來ノ技術ノ點ヤ、設備ノ點カラ申シマス、結局實際ニ利用シ得ル物ト云フモノガ自然限ラレテ居ル、結局一面ニ於テハ技術ノ改善ト云フコトガ必要ニナリマセウシ、一面ニ於キマシテハ、色々運輸ノ關係トカ、其ノ他ノ色々ナニニ關聯シテノ事柄ヲ考慮シテ、今御話ニナツテ居ルヤウニ、是ガ無駄ニ捨テラレテ居ルストスルナラバ、極力利用シテ行クヤウニ考ヘテ行クコトガ、極メテ必要デアラウト考ヘテ居リマス

○中山太一君 是ハ特ニ今日此ノ解決ニ於テノ御答ヲ戴カタクデモ宜シウゴザイマスガ、一ツ特ニ御當局ニ御考慮ヲ願ヘバ、海ニナニシテ居リマスカラ、積込ミニ費用ガ掛カリマセシ、實ニ便利ナ所ニ資材ガ蓄積サレテアルコトニナツテ居リマス、研究モ進ンダヤウデアリマスカラ、是ハ一ツ積極的ニ御調査及ビ之ヲ御活用ニナルヤウニ御考究ヲ仰ギタイト存ジマス、是ハ餘程大キナ鐵ノ量ガ得ラレルヤウニ思ハレマス、今迄

ハ銅ヲ採タアトノ鐵ト云フモノハ、或物トノ化合ヲ何シタ爲ニ採レナイト云フコトデアツガ、今ハ探レルヤウニナツテ居リマス、一番便利ナ海ニ在ッテ、サウシテ高イ陸ガドンノ出来テ居ルト、又此ノ「ロ」ヲ他ニ耐火煉瓦ノヤウナ風ニシテアリマス、是モ利用法ヲ御考ヘ願フト、鐵程ニ硬クナイケレドモ、何カノ利用ニ役ニ立ツダラウト思ヒマスカラ、是モ此ノ際ニ時局下ニ於テ御考慮願フテ、或ハ防空壕トカ何カノ設備ニ之ヲ利用スルコトガ、非常ニ役立ツノデヤナイカト思ヒマス、私モ之ヲ見マシテ、何カ活用シタイト思フノデ、百個程見本ヲ送ッテ貰フテ、今研究中デアリマスケレドモ、當局ニ於テ一層具體的ニ一ツ御研究ヲ願フテ何シテ戴キタイト思ヒマス、ソレカラ更ニ此ノ資料ノ中ニアリマス各鑛業關係ノモノデ、今迄財界ノ變動トカ、色々ナコトデ犧牲ニナツテ經營困難ニナツタモノモアリ、又融資ヲ受ケタヤウナモノモアルダラウト思ヒマスガ、ソレハ斯ウ云フ場合ニ相當ナ金ヲ負擔シテ居ルト云フコトハ、ナカノ骨ノ折レルコトノヤウニ思ヒマスガ、此ノ際矢張り特殊ナ、此ノ會社アタリカラ無利息デ融資スルトカ、又ハ外ノ方法デ、過去ノ昭和二年ナリ、其ノ他ノ時ノ財界ノ破綻ニ依ッテ斯ウ云フ鑛業ガ大キナ犧牲ヲ拂ッテ居ル、又ハ融資ヲ受ケテ居ッテ困ッテ居ルモノガアルナラバ、ソレニ對シテ金利ヲ何カ考ヘラレルト云フコトハ、商工當局ハ御考ヘニナツテ居リマセウカ

○國務大臣(岸信介君) 此ノ會社ノ融資スル場合ニ於ケル金利デアリマスガ、是ハ無利子ト云フ譯ニ參リマセヌノデ、或標準ノ利息ハ矢張り取ッテ居リマスケレドモ、今御話

ニテリマシタヤウナ他ノ關係ニ於テ非常ニ債務トシテ大キナ負擔ヲシテ居ル者ト云フモノヲ、一部分コナラデ比較的低利ニ肩替ラスルトカ、或ハ投資ノ形デ金ヲ出セバ、サウシテ舊債ヲ辨償セシメテ山ヲ更生セシメルトカ、其ノ他新タニ資金ガ要リマスモノニ對シテ投資融資等ノ方法ニ依ッテ、是等ノ山ヲ活用スルコト云フノハ、此ノ開發會社ノ本來ノ使命デアリマス、相當ニサウ云フ意味ニ於テ、從來色々ナ關係デ動カナクナツテ居ル所ノ山ヲ更生セシメツ、アルノガ現狀デアリマス、唯御話ノヤウニ全部利息等ヲ此ノ會社デ負擔スルト云フヤウナ所迄參ッテ居リマセヌ

○中山太一君 此ノ鑛業開發ノ實績ヲ舉ゲマスニ付テハ矢張り鑛業用ノ機具、機械竝ニ材料等ニ付テモ餘程無駄ヲ省カナケレバナラナイ點モアリ、能率のニ其ノ機能ヲ發揮シナケレバナラヌ點モアルト思ヒマス、ソレカラ勞働力ニ付テモ餘程能率のニ此ノ仕事ニ携ハルト云フコトニ依ッテ、成績ガ一層能ク舉ルト思ヒマス、商工當局ハ一層此ノ點ニハ力ヲ、心ヲ用ヒナケレバナラナイノデスガ、鑛山方面ニ於テ、ソレガ實施サレマスヤウニ、又例ヘバ能率家トカ、或ハ能率ニ付テノ專門ノ技術者ヲソレニ入レテ、サウ云フ實績ヲ舉ゲルヤウニ御配慮ヲ願ッタルドウカト思ヒマスガ、之ニ對シテ御當局ノ御考ハ如何デゴザイマスガ

○國務大臣(岸信介君) 御話ノ點ハ御尤モデアリマシテ、私共極力サウ云フ風ニ努メタイト思ッテ居リマス、ソレニ付キマシテハ先ヅ鑛發會社ノ今迄ノ何ヲ見マスト、先程申シマシタヤウニ、此ノ會社ノ性質上カラ申シマシテ、收益關係ハドウシテモ外ノ此

ノ種ノ一般民營會社見タヤウニ採算ガ取レル所ダケヤルト云フヤウナ關係デアリマセヌノデ收益ノ關係ハマツクナツテ居リマス、ケレドモ此ノ會社ノ使命カラ申シマスト、一方大キナ山デ色々ナ關係デ増産ガサレテ居ラヌト云フ所ニ、或ハ技術ノ援助ヲスルトカ、或ハ資材、資金等ノ有效ナ配分ヲシテヤッテ行クコトカ云フヤウナコトヲ、一面大キナ山ニ——是ハ結局目ニ見エル増産ハ大キナ山ヲ大規模ニ開發スル以外ニハナイト思ヒマス——コトヲ行フト共ニ、中小鑛山ハ御承知ノ通り所謂探鑛ノ意味ニ於キマシテ澤山ノ人ガ比較的小サイ所ヲ突ツイテ居ル、其ノ中ノ幾ツカト云フモノガ非常ニ大キナ鑛床ニ打突カル、今日大キナ山ト謂ハレルモノハ、多クハ沿革のニ見マスト、初メ中小ノ人ガ色々苦心シテ掛ケタモノガ段々鑛床ガハッキリシテ大キクナッタト云フヤウナ沿革カラ見マシテモ、鑛山ノ性質カラ見マシテモ、矢張り中小鑛山ニ相當ノ力ヲ入レテ是等ノ方面ノ開發ニ當ッテ行ク、之ニハドウシテモ資金ノ點、資材ノ點、或ハ勞力、又技術ノ點等ガ非常ニ劣ッテ居リマスカラ、サウ云フモノヲ此ノ鑛發會社ガ中心ニナツテ之ヲ指導シテ行ク必要ガアリマ

ス、私共ハ今後此ノ鑛發會社ガ資金的ニ充實シテ行クト共ニ、技術其ノ他内容的ニ之ヲ充實致シマシテ、今御話ニナルヤウナ全體鑛業ノ能率ヲ舉ゲルト云フヤウナ事柄ニ關シテ指導のナ立場ヲ取ッテ行クヤウニ指導シテ行キタイト斯ウ思ッテ居リマス

○中山太一君 私人質問ハ是デ打切りマシマス

○子爵岡部長景君 二三點伺ヒタイト思ヒマス、一ツハ今度ノ改正案ニハ政府ノ出資額ニ付テ先ヅ制限ヲ撤廢サレタヤウナコト

デアリマス、之ヲ見マスト三千萬圓ノ資本ヲ大體九千萬圓増額スルト云フ御豫定デゴザイマスガ、サウシマスト法律デ三千萬圓ト云フモノハ餘リ無意味ナコトニナリハシナイカ、寧ろ法律的のニ之ヲ考ヘレバ、此ノ際矢張り其ノ法律ノ三千萬圓ノ増額ヲ一應改正ノ中ニ入ラレテ、更ニ超過額ト云フノハ寧ろソレノ例外的のニ僅カバカリ、一割トカ二割トカ云フ程度ハ超過スルト云フノガ立法論トシテハ正シイノデハナカラウカト思フノデアリマスガ、餘リ除外例ノ方ガ大キクナリ過ギテ本末顛倒ノ嫌ヒガアリハシナイカ、是ハ會社法ト云フ法律デ此ノ根本ヲ決メテ居ルト云フ建前カラ云フト面白クナイ改正デナカラウカト云フ風ニモ考ヘラレルトデアリマス、唯今度ノヤウナ改正案ニナツテ居レバ、便宜幾ラデモ殖ヤセルト云フコトハアリマセウガ、法律ノ改正案トシテハ稍、行キ過ギテハ居リハシナイダラウカト云フ氣ガスルノデアリマスガ……

○國務大臣(岸信介君) 御話ノ點ハ立法技術ノ點トシテ御尤モダト思ヒマスガ、實ハ今回提案致シマシタ其ノ他ノモノモ大體斯ウ云フヤウナ立法ノ形ヲ取ルヤウニナツテ居リマス、是ハ恐ラクハ最近ノ經濟事情ト云フモノガ非常ニ激動期ニアリマスノデ、或ハ増資ノ點ニ關シマシテモ、豫算其ノ他ノ點ガ許シマス限リニ於テハ其ノ事業ノ性質ニ依ッテ殖ヤスト云フヤウナ事柄モ一方考ヘラレルトデハナイカト思ヒマスガ、同時ニ多少此ノ立法ノ技術的のニ申シマスト云フト、從來、今御話ノヤウニ會社ガ、苟モ會社法ト云フモノヲ作ル以上ハ其ノ資本金ト云フモノガ基礎ニナルノダカラ、大體ノ目安ヲ定メテ、サウシテ増資スルト云フコト

ハ御話ノ通り例外トスル事柄デアル、サウシテ例外的ニ扱フト云フノガ從來ノ立法論カラ謂ヘバ正シイ建前デアラウト思ヒマス、今申シマシタヤウナ時局ノ變動ト、ソレカラモウ一ツハ是ハ拂込ノ方デ調節スルト云フ途モアリマスノデスガ、色々ナ資金ノ方ハ何シマシテモ資材勢力ト云フモノヲ見合ヘテ見ナイト、實際ノ仕事ハ出來ナイ、サウスルト不必要ナ部分ノ所ハ……不必要ト申シマスカ、資材勢力ガ伴フモノハ増資シナクテモ宜イ、實情ニ合ヘセヨウト云フヤウナ考ヘ方カラ、増資ノ額ト時期ト云フモノヲ最モ事情ニ適セシメルト云フ考ヘ方カラ見テ、今度出シテ居リマス鑛發會社モ、帝國石油モサウ云フ風ニ致シテ居リマスシ、其ノ他ノ立法ノ中ニモサウ云フ風ノ扱ヲシテ居リマスノデ、ソレニ從ツテ譯デアリマス

○子爵岡部長景者 一應御説明ハ拜承シマシタガ、是ハ立法論トシテハ確カニ私共先申シマシタヤウナ建前ヲ執ルベキノガ正當アラウト云フ風ニ考ヘマスルガ、今度ノ改正ハサウ云フ見地カラ見ルト稍、餘リ便宜ニ捉ハレ過ギテ居ヤシナイカト云フ感ヲ持ツノデアリマスガ、多分他ノ各位ニ於テモ同様ノ感ヲ持タレテ居ルノダラウト私ハ想像シマスガ、是ハ餘リ先例トシテ好イ例デナイト云フコトハ御記憶願ヒタイト思フノデアリマス、他ノ燃料會社、石油會社等ノ場合モ矢張り同様ノ例ニナツテ居リマスガ、是ハ皆同ジ考ヲ持ツベキデナカラウカト思フ、會社法ノ實體ハ會社ノ資本ガ主デアル、ソレヲ矢張り法律デ定メテ置クト云フコトハ立法論トシテ正シイト思ヒマス、ソレハ其ノ程度ニ止メテ置キマシテ、モウ一ツ伺

ヒタイノハ、此ノ會社ノ事業ハ從來内地ニ於ケル鑛產ヲ處理スルト云フコトガ主タル目的デヤツテ來テ居タヤウデアリマスガ、今後南洋方面デ色々優良ナル鑛區鑛山ガ利用セラレルト云フコトニナリマス、鑛產ヲ高イ金ヲ出シテ處理スルト云フコトハ採算カラ見テ引合ハナイモノガ少クナイダラウト思フノデスガ、併シ一方ハ南方ノ問題デアルシ、一ツハ所謂自給自足、極ク狹イ意味ニ於ケル内地ノ自給自足ト云フ意味モ考ヘラレナケレバナラスト思フノデスガ、ソレニ付テ政府ハドウ云フ御方針デ今後此ノ會社ノ從來ヤツテ來タ事業ニ對シテ、或ハ更ニ國內ニアル鑛產開發問題ヲドウ云フ風ニ御處理ニナルカ、又此ノ會社ガ南方ニ發展スルヤウナ場合ニハ從來ヤツテ來タモノニ對シテドウ手加減ヲサレルカ、ソレ等ニ付テ御方針ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(岸信介) 今後南方諸地域ニ於キマシテ有望ナル鑛山ガ獲得セラレ、之ガ開發ヲ見ルニ至ルベキ事柄ハ、是ハ當然デアリマス、ソレト關聯シテ内地ノ是等ノ鑛山、是ハ比較的客觀的條件ニ恵マレテ居ナイ、所謂御話ノ低品位デアルトカ、其ノ他鑛床ガ比較的小さいトカ、色々ナ點ニ於テ恵マレテ居ラナイ鑛山ノ經營ト云フコトガ、南方諸地域ノ開發ト其ノ儘競争セシメルト云フヤウナコトニナレバ、當然非常ニ不利ナ立場ニ立ツト思ハレルノデアリマス、之ニ對スル政府ノ考ニ付テノ御質問デアッタト思ヒマスガ、茲ニ此ノ鑛發會社ガ目的トシテ居リマスヤウナモノハ、何レモ國防上極メテ重要ナモノデアリマシテ、之ニ付テノ國內資源ノ開發ヲ確保シテ置クト云フ事柄ハ、國防上ノ見地カラモ、今御話ノ通

リ遠イ所カラ船デ持ッテ來ルト云フコトニ全部頼ルコトガ危險デアルコトハ言フヲ俟タナイノデアリマスカラ、其ノ意味カラモヤラナケレバナラスト、又低品位ノモノヲ處理シテ行クト云フコトカラ、非常ニ鑛山技術、製鍊技術等ガ進歩發達シテ參ッテ居リマス、此ノ南洋諸地域ノ開發ト云フモノハ、言フ迄モナク日本ノ技術、經驗ヲ中心ニシテ行ハレル譯デアリマスガ、ソレガ行ハレマス爲ニハ、矢張り日本内地ニ於テ相當高イ技術ト經驗ヲ常ニ持ッテ居ラナケレバナラスト私ハ思フノデアリマス、サウ云フ點カラ申シマシテモ、是等ノ國內ノ鑛山ノ開發經營ト云フモノヲ助成シテ行カナケレバナラストコトハ言フヲ俟タナイコトデアリマス、加フルニ錫ノ如キ南方諸地域ニ非常ニ豊富ナ埋藏量ヲ持ッテ居リマスモノモアリマスケレドモ、銅其ノ他ノモノニ付キマシテハ、今マダ發見サレテ居ラナイ所ノモノヲ將來地質調査等ノ關係ニ依ッテ發見サレ、バ別デアリマスガ、今日南方諸地域ノ開發サレテ居リマシタモノヲ考ヘテ見マスルト、之ニ非常ナ大キナ期待ヲ持ツト云フコトハナカク、困難ナ事情ニアリマス、矢張り飽ク迄日本内地ニ於ケル銅鑛業ト云フモノヲ中心ニシテ、之ノ補充的ナ意味ニ於テ南方ノ諸地域ヲ考ヘナケレバナラナイト云フヤウナ實情ニアリマス、其ノ他各種ノ鑛石、鑛物ニ依リマシテ多少事情ハ違ッテ居リマスケレドモ、何レニシマシテモ、量ノ上カラ申シマシテモ、日本内地ノモノヲ確保シテ置クト云フコトガ絕對ニ必要デアルト思フノデアリマス、斯ウ云フ見地カラ比較的客觀的條件ニ恵マレテ居ラナイ鑛山ト云フモノノ經營ハ困難デアリマスカラシテ、ソレヲ助成シ且其ノ開發ヲ續ケ

テ行ッテ、或程度ノ擴張ト云フモノヲサシテ行クト云フコトニ付キマシテハ、餘程適當ナ方策ヲ樹テナケレバナナリマイト思ヒマス、此ノ事柄ニ關シマシテハ、從來此ノ帝國鑛發會社其ノ他政府ノ鑛業方面ニ對スル助成施設ハ矢張りヤツテ行カナケレバナラスト思ヒマスガ、同時ニ南方諸地域ニ對スル開發ノ形式ヲドウ云フ風ニ考ヘテ行クカト云フ問題ト相當ニ關係ガアルト思フノデアリマス、大體方針トシマシテハ、今日ハ御承知ノ通り軍政下ニ在ッテ臨時的ナ措置ガ講ゼラレテ居リマスケレドモ、鑛山統制會——是ハ鑛發會社ノ如キ國策會社ハ勿論入ッテ居リマシテ、日本ノ鑛業ノ全部ヲ網羅シテ居リ、日本鑛業全體ノ統制ヲ行ッテ居ル譯デアリマスカラ、此ノ統制下ニ南方方面ノ諸地域ニ對スル進出モ考ヘテ行ク、而モ從來ノ經驗、技術ト云フモノヲ十二分ニ働カシテ最モ急速ニ開發セシメルト云フ組織ヲ採ルト共ニ、是ガ唯南方ニ進出シタ人ノ唯一ノ利益ダケニ經營サレルト云フコトノナイヤウナ色々ナ仕組ニ付キマシテ考究ハ致シテ居リマスガ、例ヘバ一ツノ方法ト致シマシテハ、是ハハマア確定的デハアリマセスガ、向フカラ入ッテ來ル鑛石ト内地ノ鑛石トヲ「プール」シテ適當ニヤツテ行クト云フヤウナ方法ヲ考ヘマス、結局向フノ有利ナモノノ一部ニ不利ナモノガ均霑シテ、全體ノ鑛山ノ負擔ガ客觀的條件ノ好イ所デ犧牲ヲ拂ッテ惡イ所ヲ養ッテ行クト云フヤウナコトモ、「プール」制度ノ運用ニ依ッテ出來ルト思ヒマス、何レニ致シマシテ色々ナ方式ニ付キマシテ考究致シテ居リマスルガ、今申シマスヤウニ、國內ニ於ケル是等ノ低品位鑛ノ開發ト云フコトハドウシテモ各種

ノ觀點カラ見テ繼續シテ行カナケレバナラ
ス、ソレニ對スル助成ト色々仕組ニ付キ
マシテハ、十分一ツ考究シテ其ノ目的ヲ達
スルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○子爵岡部長景君 今ノ御説明ハ能ク了承
致シマシタ、私ノ質問ハ一應是デ打切りマ
ス

○塚本清治君 第三條ノ改正ニ付テ聊カ疑
問ガアルノデアリマスガ、此ノ會社ノ資本
金ハ現行法ニ於テ三千萬圓トシテ、内千五
百萬圓即チ半額ニ當ルモノヲ政府ノ出資ト
スルト云フ定メニナッテ居リマスガ、改正案
ニ依リマス、會社自身ガ三千萬圓以上ノ
資本ニ増額致シタ場合ニハ、其ノ額ノ如何
ニ拘ラズ「政府ハ千五百萬圓ヲ超エテ出資ス
ルコトヲ」得トアリマスカラ、必ズシモ會社
ノ増資ノ半額ト云フ制限ヲ受ケナイヤウニ
文字上見エマスガ、果シテサウデアリマス
カ、サウダト致シマス、第三條ノ第一項
ノ原則ト異ニシテ政府出資ヲ増額セシムル
理由ヲ一應承ッテ置キタイ

○國務大臣(岸信介君) 法律ノ形式カラ申
シマス、今御指摘ニナリマシタヤウニ法
文上カラハ必ズシモ政府ノ出資ガ全體ノ半
額ダト云フ事柄ハ出テ參ラナイヤウニ思ヒ
マス、御話ノ通りダト思ヒマス、唯實際ノ
運用ト致シマシテハ私共ハ矢張り政府ノ出資
ハ半額トスル積リデ、今度ノ増資六千萬圓
ニ對シマシテモ、内三千萬圓ヲ政府出資ト
シ、三千萬圓ハ民間ノ出資トスル、運用ハサ
ウ云フ風ニスル積リデ居リマス

○野村德七君 今迄ノ補給額ニ付キマシ
テ先程御説明ガアリマシタガ、其ノ金額ハ參
考資料ニ載イテ居リマスガ、要スルニ配當
補給金額ガズット第四營業年度迄此ノ數字

ニ依ッテ補給サレテ參ッタヤウデアリマス、
要スルニソレハ配當補給ノ範圍ヲ出デナイ
ヤウデアリマス、ソレカラ此ノ數字カラ以
降ノ豫定額ニ付テモ説明ガアリマシタガ、
十六年度デハ總計八十八萬圓、其ノ次年度
デハ約百五十五萬圓ト云フ數字ヲ承ッタイ
ウデアリマスガ、矢張りソレモ此ノ參考資
料ニ示シテアリマスヤウニ、將來配當補給
ヲ六分ニ御引上ニナルヤウデアリマスカラ、
要スルニ此ノ補給額ト云フモノハ配當補給金
交付額ノ範圍ニマダ止マッテ居ルヤウニ、拜
聽シタノデアリマス、要スルニ此ノ會社ガ
積極的ニ今後開發助成サレルト云フ場合ニ
モ、サウ云フ配當補給金額以外ノ範圍ニ於
テ補給ヲサレテ居ルト云フコトニ標準ガ限
定サレテ居ルノデアリマス、或ハモット積
極的ニ、此ノ會社ノ赤字ガ配當補給金額ヲ
超越シテモ仕事ヲ積極的ニオヤリニナラウ
ト云フ御考デアアルノデスカ、其ノ點ヲ伺ッテ
置キタイト思ヒマス

○國務大臣(岸信介君) 第二十四條ノ規定
ニ此ノ「重要礦物ノ増産上必要ナル命令ヲ
爲シタルトキハ政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依
リ之ニ因リ生ジタル損失ヲ補償ス」ト云フ
二十四條二項ノ規定ガアリマスガ、今配當
補給ノ外ニ政府トシマシテハ、重要礦物ノ
増産上必要ナル命令ヲ會社ニ出シマシテ、
サウシテ其ノ事業ニ關スル限リニ於キマシ
テハ別途計算ニシテ一切ノ損失ヲ補償スル
ト云フ法律ノ建前ニナッテ居リマス、此ノ
規定ヲ相當今後勅令シテ參リマシテ、積極
的ニ會社ニ命令シテ重要ナル仕事ヲサセル、
其ノ關係ニ於テハ一切ノ損失ヲ政府ガ負擔
スル、此ノ補給金ノ制度ト二ツツ並ベテ運
用シテ參ッテ、今御話ノヤウニ積極的ニ仕事

ヲサセル積リデ居リマス
○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 外ニ御質問ゴ
ザイマセスカ……ゴザイマセスカレバ一
應……

○子爵松平忠壽君 此ノ戴イタ資料ノ第一
ノ處ニ鑛山ノ名前ガ澤山出テ居マスガ、是
ハ國內ノ鑛山ヲ殆ド網羅シテ居ルノデゴザ
イマセウカ

○國務大臣(岸信介君) 此ノ點ハソレハ極
ク一部分シカナイノデゴザイマス、全體ヲ
網羅シテ居ルノデハゴザイマセス、極ク一
部分デゴザイマス

○子爵松平忠壽君 サウスルト將來外ノ鑛
山モ段々之ニ收容ト謂ヒマス、此ノ鑛業
開發株式會社デ經營シテ行クト云フ御方針
デアリマス

○國務大臣(岸信介君) 必要ニ應ジマシテ
サウ云フヤウニ事業ヲ擴張シテ參リタイト
思ッテ居リマス

○子爵保科正昭君 參考書トシテ頂戴シタ
帝國鑛業開發株式會社ノ現況ト云フノヲ繕
イテ見マス、第七頁ノ八ノ所ニ「試料採
取場ノ經營」ト云フノガアリマスガ、是ハ
ドノ程度經營サレルノデアリマス、其ノ
經營サレル買鑛製鍊所附屬試料採取所中接
收ヲ了リマシタモノハ是々ト云フ十箇所ヲ
書イテアリマスガ、之ノ説明ヲチヨット伺
ヒタイ

○政府委員(津田廣君) 此ノ八ニ書イテゴ
ザイマスモノ、試料採取場十程ニナッテ居
リマスガ、大製鍊所ニ於キマシテノ大部分
ハ殆ド接收ヲ見テ居ル譯デアリマス、製鍊
所ト離レマシテ、鑛發ガ第三者ノ立場ニ於
キマシテ公平ナル判斷ヲ行ク上ニ是
非必要デアルト云フコトカラ製鍊所ト切離

シマシテ、第三者ノ立場ニ於テ鑛業開發會
社ガ主要採取場ヲ經營シテ行ク、殆ド是デ
大製鍊所ノ主要採取場ヲ全部網羅致シテ居
リマス

○子爵保科正昭君 續イテ伺ヒマスガ、大
製鍊所ト云フモノハ此處ニ十箇所アル、外
ク買鑛ト云フモノハ是等ノ製鍊所ニ集マル
ノデアルガ、其ノ會社自體ノ經營スル所ノ
試料ノ検査デハ不完全ナコトガアリ、又ハ
弊害ヲ生ズルニ依ッテ、試料ヲ分析スル機關
ト云フモノハ此ノ會社デ全部之ヲ接收シテ
居ルモノデアルカ、ソレトモ此ノ會社ノ間
ニ介在スル權限ノ鑛石ダケヲ分析スル所ノ
分析所ヲ、此ノ買鑛スル製鍊所ノ中カラ會
社ガ接收シテ居ルノデアルカ、ソコヲ伺ヒ
タイ

○政府委員(津田廣君) 此ノ鑛發會社ガ自
ラ經營致シテ居リマスル鑛山カラ出マス鑛
石ニ付テノ試料ヲ採取スルト云フノデハナ
イノデアリマシテ、各大製鍊所ニ參リマス
鑛石全部ニ付キマシテ、日本中ノ鑛石全部
ニ付キマシテ、此ノ鑛發ガ第三者ノ立場ニ
於テ分析トカ品位ノ検査ヲ致シテ居ル譯デ
アリマス

○子爵保科正昭君 ソレデハ住友鑛業トカ
四阪島ナドノ分析スル所ハ、自分ノ經營ス
ル鑛山ノ鑛石ヲ其處ヘ持ッテ行ッテ製鍊スル
時モ、其ノ分析所ハ本會社ノ經營スル分析
所ヲ通ラナケレバイケナイト云フコトニナッ
テ居ルノデアリマス

○政府委員(津田廣君) 買鑛スル部分ダケ
デゴザイマシテ、自分ノ山カラ出マス鑛石
ニ付キマシテハ除カレテ居リマス
○白根竹介君 此ノ會社ト重要物資管理營
團トノ關係ハドウ云フ風ニナリマス、私

共鑛產物ニ對シテハ、折角斯ウ云フ帝國鑛業開發株式會社ト云フモノガアルノデアリマスカラ、鑛產物ノ保管トカ利用トカ云フコトハ、此ノ國策會社ニヤラシタ方ガ宜イヤウニ思ヒマスガ、ソレカラモウ、ツハ、鑛山統制會ノ下ニ鑛物ノ配給會社等ガゴザイマスケレドモ、重要物資管理營團ニ依ッテ保管サレル鑛產物ヲ、鑛山統制會ノ系統ニ移スト云フコトモ考ヘラレルノデハナイカト思ヒマスガ、サウ云フ方ノ關係ハドウ云フ風ニナリマスガ

○國務大臣(岸信介君) 重要物資管理營團

デハ勿論、法律ノ建前カラ申シマス、鑛石モ有ラユルモノヲ扱フヤウニナッテ居リマスケレドモ、實際ノ私共ノ計畫ト致シマシテハ、自分直接扱ヒマスモノハ、製鍊サレマシタ錫ダトカ或ハ銅ダトカ云フモノハ扱フコトニナルト思ヒマスガ、鑛石自體ニ付キマシテハ、例ヘバ「ボーキサイト」ノ如キハ「アルミニウム」ノ其ノ方ノ統制會ニ保有セシメルトカ、鑛石ノ方ニ付キマシテハ之ヲ何スルトカ云フヤウナ考デアリマシテ、大體統制會系統ノ統制機關ヲ通ジテサウ云フモノノ保有ト云フ事柄ヲヤラス考デアリマス、管理營團自ラガヤルト云フ考ハ今日持ッテ居リマセス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 一應質問ハ御

有リニナラスヤウデアリマスカラ、更ニ他ノ機會ニ於テ御質問ノ機會モアラウカトモ思ヒマス、次ニハ帝國燃料興業株式會社法中改正法律案ト、帝國石油株式會社法中改正法律案、此ノ二案ヲ一括シテ議題ニ致シタイト思ヒマス、此ノ二案ニ付キマシテ御質疑ノアル方ハドウゾ……

○出光佐三君 今同南洋ノ油田ガ手ニ入り

サウニナッタノデアリマシテ、ソレニ付キマシテ一般デハ石油ノ大洪水デモ起ルカノヤウナ感ジラ持ッテ居ルノデアリマスガ、之ニ對シテ政府トシテハ、東亞大共榮圈內ニ於ケル石油ノ自給自足ガ、之ノミデ完全デア

ルカドウカト云フコトヲ御尋ネシタイノデスガ、無論日本ガ今迄石油ニ非常ニ苦勞シマシタ關係上、南洋ノヤウナ大油田ヲ手ニ入レタカラ、サウ云フ考ヲ持ツノモ尤モト思ヒマスガ、併シ量ノ上カラ申シマシテ、東亞大共榮圈內ノ產出ハ約全世界ノ總額ノ四「パーセント」ニシカ當ラナイト思フノデアリマス、サウ非常ニ大キイモノデアルト云フコトモ、言ヘナイノデヤナイカト思フノデアリマスガ、又質ノ上、所謂製品ノ種類ノ上カラ申シマシテモ、ソレダケヲ以テ東亞ノ全體ヲ賄ヘルカドウカ、丁度生産ト消費ト各一千萬「トン」位ヅツニナッテ、量ニ於テハ一致シテ居ルヤウデアリマスガ、併シ需要スル數量カラ申シマス、例ヘバ「ランプ」油ノ如キ、或ハ桐油ノ如キモノハドウシテモ足りナイカラ今迄「アメリカ」カラ持ッテ來テ居ル、斯ウ云フ狀態デアリマシテ、量ノ上、或ハ種類ノ上カラ言ウテモ、將來自給自足ガドウカト私ハ考ヘテ居ルノデゴザイマスガ、勿論日本ノ立場カラ申シマスレバ、國防第一主義カラ申シマシテ、ドウシテモ油田ヲ開發シタリ、或ハ人造石油ノ強化ヲ圖タリ、貯藏ヲ非常ニ増加スルトカ、製油所ヲ増設スルトカ云フヤウナ、各方面カラ石油ノ増產ヲ圖ラナケレバナラスト思フノデアリマスガ、併シ東亞全體カラ申シマシタ時ニハ、是ハ矢張り將來「アメリカ」トノ石油戰ガ想像サレルト云フコトモ考ヘナケレバナリマセヌノデ、其ノ點ニ關シマシテ、

今ノ大東亞ノ中デ自給自足ガ出來ルカドウカト云フコトヲ考ヘテ見タイト思フノデアリマスガ、此ノ點ハ政府トシテハドウ云フ風ニ御考ヘニナッテ居ルノデスカ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(岸信介君) 此ノ液體燃料ノ問

題ニ關シマシテハ、御承知ノ通り從來專ラ「アメリカ」其ノ他ノ外國ニ依存セネバナラナカッタ日本ノ液體燃料ノ問題、又東亞共榮圈ト致シマシテモ、サウ云フ第三國依存ノ形ニアッタ譯デアリマスガ、南方諸地域ニ於ケル油田ガ確保サレテ、是ガ適當ニ開發サレテ參リマス、サウ云フコトニ相成リマス、今申シマシタヤウナ、從來ノ事情ト云フモノガ非常ニ變ル、即チ大體ノ基礎ヲ東亞共榮圈內ニ於テ自給自足スルト云フ態勢ガ初メテ出來上ルト思ハレルノデアリマス、唯世間一般ニ今日「ボルネオ」等ノ油田ガ日本ノ軍隊ニ依ッテ確保サレルニ至リマシテ、非常ニ近ク石油ガ大量ニ輸入セラレルガ如ク期待スル向モアリマスケレドモ、サウ云フコトガ色々各般ノ事情カラ見テ到底期待出來ナイコトハ言フヲ俟タナイノデアリマス、實際上ノ油田ノ開發ニ致シマシテモ、又輸送ノ關係ニ於キマシテモ、ソレカラ現在確保サレタ所ノ地域ノ出油ノ總量カラ見マシテモ、サウ云フ事柄ハナカク期待出來ナイコトハ言フヲ俟タナイノデアリマス、將來全南方地域ノ油田ガ確保セラレマシテ、是ガ開發サレタ、斯ウ考ヘマス、其ノ數量ハ此ノ戰爭前ニ於ケル是等諸地域ニ於ケル出油ノ高ヲ、大體其ノ狀態ヲ確保スルモノダト斯ウ考ヘマス、今御話ノ通り大體千萬「トン」前後ノモノデアラウト思フノデアリマス、併シナガラ是ガサウ云フ風ニ回

復サレルニ至リマシテ、十分是ガ利用サレルト云フノニハ相當ノ時日モ要スルコトト思ヒマス、從ッテ日本ヲ中心トスル所ノ東亞共榮圈內ニ於ケル石油ノ需要ト云フモノモ更ニ殖エル事柄ヲ考ヘナケレバナラスト思フノデアリマス、又今御指摘ノアリマシタヤウニ、總量ハサウ云フコトニナッテ居リマスケレドモ、更ニ之ヲ油ノ性質カラ見マシテ、各種ノ油ノ製品ノ自給ヲソレノ考ヘテ見マス、サウ云フ、ナカク困難ナ點モ相當アルヤウニ思フノデアリマス、ソコニ於キマシテ、矢張り將來ノ日本ヲ中心トシテノ東亞ノ液體燃料ノ問題ヲ、眞ニ自給自足ノ基礎ノ下ニ置ク爲ニハ、日本内地ニ於ケル油、是ハ量ト致シマシテハ餘リ大キナモノデハアリマセヌケレドモ、質ノ上カラ考ヘマシテモ、又其ノ他ノ點カラ考ヘマシテモ、是ハ飽ク迄從來出テ居リマスヤウナ程度ニ於キマシテハ之ヲ確保シテ行ク必要ガアラウ、又人造石油ノ問題ニ關シマシテモ、是ハ御承知ノ通り色々方法ガ現在講ジラレツ、アリマスガ、之ニ付キマシテハ、矢張り從來ノ計畫ハ之ヲ實行シテ參リマシテ、相當量ノ人造石油ト云フモノノ事業ト云フモノヲ確立シテ、是等ヲ綜合シテ眞ニ大東亞共榮圈內ニ於ケル液體燃料ノ自給策ヲ確立スル、サウシテ何處カラ見テモ不安ノナイヤウナ狀態ニ置カウト云フコトデ、政府トシマシテハ萬全ヲ盡シテ居ル譯デアリマス、唯此ノ際一言申添ヘテ置キタイト思ヒマス、先程申上ゲマシタ如ク南方諸地域ガ占領サレタカラト云ッテ、世間ノ一部デ考ヘテ居ルヤウニ、油ガ非常ニ急速ニ大量ニ日本ニ來ルト云フ風ナ考、從ッテ或ハ從來ノ消費ノ規正モ緩和スルノデハナイカト云

ル、例へば支那ノ各地トカ「フィリッピン」トカ云フ風ニ、方々ニ精油所ヲドーン建テテ、「アメリカ」ノ油ヲ一滴モ入レナイノダト云フ、斯ウ云フ議論ガ又眞面目ニ言ハレ、現ニサウ云フ出願モ方々ニアルヤウニ聞イテ居リマスガ、此ノ點ニ關シテ御意見ヲ承リタイト思フノデスガ、ドウシテモ將來石油戰ガ起ルトスレバ、今大臣ノ御話ニナツタヤウニ保護ト云フコトハ、是ハアリマセウガ、矢張り、ソコニ其ノ「コスト」、生産ノ「コスト」トカ、色々ナコトヲ考ヘテ、戰鬪力ヲ充實シテ置カネバナラヌト思フノデアリマス、精油所ヲ何處ニ置クカト云フコトガ最モ大切ナ問題デヤナイカト思ヒマス、私ノ考デハ是ハ意見ニナリマスガ、東亞ノ、大體日本ヲ除イテ他ノ所マダ文化ノ程度ガ進ンデ居リマセスカラ、石油類ヲ需要スルモノハ、南方デハ大部分燈油ガ主ナノデアリマス、假ニ一ツ支那ニ精油所ヲ造ツタラバ、支那人ニ要スル燈油ト云フモノハ僅カデ、支那人ノ餘リ利用シナイ機械油トカ、揮發油ト云フモノハ有リ餘ツテ、ソレダカラ支那ニ原油ヲ運ンデ精製シテ、更ニ之ヲ日本ニ轉送シナケレバナラヌト云フヤウナ問題ガ起ツテ來ヤシナイカト思ヒマス、サウシテ石油ハ矢張り餘所カラ持ツテ來ナケレバナラヌ、燈油ハ外カラ持ツテ來ナケレバナラヌ、斯ウ云フコトガ起ツテ、ソコニ非常ニ無駄ガ起ル、ダカラ精油所ト云フモノヲ、サウ云フ點カラ申シマスシテ、日本ハ國防ノニ日本デ強化シテヤリマスガ、日本以外ノ所ハ南洋ノ原產地ニ於テ精油ヲスル、サウシテ製品ニ分ケテ、サウシテ其ノ製品ヲ各地ニ、需要スル所ニ適當ニヤル、例へば「ランプ」油ハ支那ダトカ「タイ」ダ

トカ、サウ云フ方面ニ主ニヤル、機械油、揮發油、航空揮發油ト云フモノハ、日本ニヤルト、斯ウ云フ風ニスルコトガ私ハ適當デヤナイカト思フノデス、ソレデ精油所ヲ各地ニ置クト云フコトハ、是ハ現在デハ各地ノ關稅ガ精油所ヲ各地ニ置クヤウニ、出來テ居リマセスカラ、關稅ノ改正カラヤラナケレバナラナイ、關稅ノ改正カラヤラナケレバナラ精油所ガ成リ立ツカト申シマス、今ノ種類ノ關係上成リ立タナイト云フコトニナリマスカラ、餘程是ハ慎重ニ御考ニテ戴キタイト思フノデスガ、處ガ一般ニハモウサウサルベキモノダ、是モ矢張り油ガ既ニ手ニ入ツタカラト云フコトニ醉ヒ過ギテ居ルノデヤナイカト云フ考ヲ持ツテ居リマスガ、其ノ結果矢張りサウ云フ錯覺ヲ起シテ居ルノデヤナイカ、サウシテ眞面目ニソレガ一方ニ研究サレテ居リマスカラ、是等ニ付テノ政府ノ御所見ハドウダラウカト思ツテ伺ツタノデアリマス

○國務大臣(岸信介) 精油ノ關係ニ關シマシテハ、確定的ノ事柄ハ今後研究シテ參ラナケレバナラヌト思ヒマスガ、大體私モ出光委員ノ御考ノ如ク、日本内地ハ是ハ國防上研究スベキデアリマスガ、其ノ他ノナニニ於キマシテハ、主トシテ原油ノ出ル所ニ於テ精油サレルト云フ事柄ガ最モ合理的デアラウト思ヒマス

○出光佐三君 今ノ御説明デ能ク分リマシタガ、次ニ企業形態ト申シマス、内地デハ從來事變前ハ縱ニ所謂油ヲ掘ツテ、ソレカラ精油ヲシテ販賣スルコト云フコトヲ、一ツノ會社デヤツテ居タヤウデアリマスガ、其ノ後帝國石油ニ油田ハ皆委ネル、精油ハ各精油會社ガヤル、販賣ハ共同販賣會社ガ出

來ルト、斯ウ云フ風ニ橫斷サレタヤウデアリマスガ、是ガ矢張り今度南方ニ御進出ニナルニ付テハ、戰爭中ハ無論軍政ノ下ニヤラレルノデアリマセウガ、民間ニ御移シニナルニ付テ、矢張りサウ云フ形態ノ下ニ、御進メニナルノデゴザイマセウカ、此ノ點伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(岸信介) 内地ノ石油ノ統制ノ進行ノ狀況ハ、今御話ガアツタヤウニ出來テ居ル譯デアリマス、是ハ南方諸地域ニ進出スルニ付キマシテハ、現在ハ御承知ノ如ク軍政下ニ於テ陸海軍トノ緊密ナル連絡ノ下ニ兎ニ角行ハレテ居ル譯デアリマス、將來ノ問題ニ關シマシテハ、政府トシテハ今具體的ニドウスルト云フコトヲ、マダハッキリ申上ゲルダケニ達シテ居リマセヌケレドモ、特ニサウ申上ゲル事柄ハ、サウ云フ油田ノ地區ニ於キマシテ色々ナ事情ガ必ズシモ同一デナイヤウニ思ハレルノデアリマス、從ヒマシテ其ノ開發ヲ最モ合理的ニ、先程カラ御話ガアリマシタヤウニ將來ノ點モ考ヘテ見ルト、最モ合理的ナ方法ヲ採ツテ行ク、出來ルダケ「コスト」ヲ安クシテ、合理的ナ方法ヲ採ツテ行クト云フコトガ必要ダラウト思ヒマス、ト同時ニ一方ニ急速ニ開發スルコトガ必要ダラウト思ヒマス、サウシテ全部ノ油田ヲ一ツノナニニ委ネルトカ何トカ云フコトデナシニ、從來ノ日本内地ニ於ケル經驗技術ト云フモノヲ活用シテ、其ノ油田ニ從來ノ相互ノ經營ノ實際モアリマセウシ、又實情ト云フヤウナモノモ採入レテ、適當ナ方法ヲ考ヘテ行カウト思ツテ居リマス、要ハ今申上ゲマシタヤウニ最モ合理的ナ經營ヲナニスルト云フコト、早ク開發スルコト、此ノ二ツノ點ヲ主眼ニ置

イテ、各油田ニ適當シタ處置ヲ執ル、斯ウ云フコトニシタイト思フノデアリマス

○出光佐三君 諄イヤウデアリマスガ、「アメリカ」トノ石油戰ハドウシテモ免レマセヌシ、是ハモウ支那ニ於ケル「アメリカ」ノ會社ノ設備ナント云フモノハ、モウ疾ウニ銷却シ盡シテ、ソレ以外ニ澤山ノ「レザ」ヲ持ツテ居ル譯デアリマスカラ、今後之ヲ利用シテ戰ツテ來ルコトハ當然デアルト思ヒマス、ソレカラ御承知ノ通り「アメリカ」ノ方デハ燈油、所謂「ランプ・オイル」ト云フモノハ、非常ニ有リ餘ツテ居ルカラ、極端ニ言ヘバ只持ツテ來テモ宜イ油デアリマス、大東亞ニ於テハ燈油ハ生産ガ不足デアルト云フコトデ、ソコニ非常ナ苦心ヲヤラナケレバナラナイト思ヒマスカラ、是ハ一ツ今ノ精油所ノ經營トカ、其ノ企業形態ノ御方針トカニ付テハ、特ニ御注意ヲ願ヒタイト云フコトハ私ノ希望デアリマス、ソレカラモウ一ツ御聽キシタイノハ、内地ニ於テハ曩ニ油田ノ方ハ統一サレマシタヤウデスシ、ソレカラ販賣ノ方モ共同石油ニ統一サレマシタガ、マダ精油所ノ方ガ幾ツカノ「ブロック」ニ分レテ居ルヤウデゴザイマスガ、是ハ一本ニスルコトモ理窟ガアルシ、二ツカ三ツニ分ケルコトモ理窟ガアリマス、兩方利害得失ガアルト思ヒマスガ、併シナガラ今日ノヤウニ南ノ油田ガ入ッテ、此ノ大キナ經營ヲヤラナキヤナラヌト云フ場合ニナツタラバ、寧ロ内地デモ色々ナ摩擦ヲ起サヤウナコトヲ止メテ、是ハ一本ニシテ、サウシテ南洋ノ方ニ全力ヲ注グト云フヤウナ方面ニ御向ヒニナルノデヤナイカ、要スルニ内地デ二ツカ三ツノ會社ヲ競争サセテ、サウシテ其ノ間ニ創意ダトカ、或ハ營

業ノ強化ヲ圖ルコト云フヤウナ見方モ一ツアリマセウガ、併シ又サウ云フコトヨリカモ非常ナ大キナモノガ出タノデアリマスカラ、其ノ方ハ一本ニサレテ、南洋ノ方ニ餘力ヲ注グト云フヤウナ御考ハナイノデゴザイマセウカ

○國務大臣(岸信介君) 其ノ點ハ從來非常ニ澤山アリマシタ精油會社ヲ或數ノ「プロック」ニ集メテ今日參ッテ居リマスガ、之ヲ直チニ一ツニスベキヤドウカト云フ問題ニ付キマシテハ餘程考究ヲ要スル點ガアルヤウニ思フノデアリマス、特ニ今御指摘アリマシタ如ク將來日本ノ精油業ト云フモノハ南方ノ油田カラ確保出來ル所ノ油ヲ主トシテ對象ニスルト云フヤウナ事柄ヲ頭ニ置イテ考ヘテ見マシテ、最モ良イ方法ヲ考ヘテ行カナレバナラスト思ヒマス、今日ノ所マダ私共採油ノ方面ニ付キマシテハ帝國石油ニ合一致シマシテモ、精油ノ方面ニ付キマシテソコ迄行クコトガ適當デアルカドウカト云フヤウナ事柄ハモウ少シ研究シテ見タイト思ヒマス

○出光佐三君 私人質問ハ是デ終リマス

○子爵保科正昭君 私人質問ト伺ヒタイノデアリマスケレドモ、只今帝國燃料株式會社法中改正法律案ノ參考書ヲ戴キマシタガ、各會社ノ工場トカ事業ノ種類ナドヲ書イタ表ガゴザイマス、是ハ恐ラク最近ノモノデ、且又全部ヲ網羅シテ居ルモノダラウト思ッテ拜見シテ居ルノデアリマスガ、抑、此ノ會社ガ起リマシタ時ニ、即チ此ノ法律ガ出マシタ時ニモ私ハ此ノ委員ノ一人デアッタノデスガ、其ノ時カラ今日迄ノ位アリマセウカ、殆ド四年位ニナッテ居リマセウ、其ノ間隨分研究モ積ンデアリマセウガ、今日

頂戴シタ表ヲ見マス、合成石油ト、ソレカラ水素添加ハ矢張り依然トシテ建設中デアラノデ、是ハ何時迄經ッテ建設シ得ルカ私知リマセスガ、未來永劫建設中ト云フヤウナコトニナッテモ甚ダ面白クナイト思フノデアリマス、ソレカラ又各「ラボラトリ」ヲ見マスト、此ノ水素添加ト云フヤウナモノ、又ハ合成法トカ云フモノノ研究シテ居ル人ハ非常ニ澤山アリマスケレドモ、矢張り是モ研究中ニ屬シテ年月ヲ經テ行クノデアリマスガ、是等ニ對シテハ此ノ會社ニ於キマシテモ之ヲ援助スルトカ何トカ云フ法文モ一條加ハッテ居ルヤウニ思ハレマスシ、又國家トシテモ斯クノ如キ實驗ヲ繰返シ「スル人」ニ對シテハ何トカ之ヲ統一シテ統合整備シテ研究ノ效果ヲ進メルヤウナ方法ヲ執ラレルト云フコトハ如何デアリマスガ、ソレガ一點、モウ一ツニハ斯クノ如ク操業中デ數年來此處デ以テ費ス場合、何カ其處ニ一ツ抜本的ノ施設モ行ッテ結果ヲ學ゲルコトガ出來ヤシナイカ、是ガ二點、ソレカラ第三ニ伺ヒタイノハ、今日此ノ増資ヲスルニ至ッタト云フコトハ此處ニモ表デ拜見シテ居ル、大體ハ分リマスガ、年々此ノ補助ヲ出シテ居リマス補給金ト云フモノガアッテ、其ノ補給金ガ堆積シテ、遂ニ此ノ會社ノ能力以上ニナラムトスルノデ、前ニ増資ト云フ問題ガ起ッテ居ルノデアリマセウガ、ソコノ所、詰リ大體ドウ云フ風ニ是ガ補給金モ増シテ行キ、其ノ工業ノ趨勢ガ進ンデ居ルカノ概略デモ宜シウゴザイマスカラ伺ハシテ戴ケレバ幸デアリマス、是ガ三點デアリマス

○國務大臣(岸信介君) 此ノ人造石油ノ問題ハ技術的ニ申シマシテモ、今御話ガアリマシタ通り、相當ムヅカシイ問題デアリマシ

テ、各社ニ於キマシテモ多年相當此ノ問題ニ、付テハ色々工夫シ研究シテ居リ、之ニ關係シテ居リマス優秀ナ技術者モ漸次各會社ガ多年ノ經驗ニ依ッテ持ッテ居ル譯デアリマス、唯從來ノ例カラ申シマスト云フト、斯ウ云フ技術經驗ト云フモノハ其ノ會社ノ矢張り一種ノ營業上ノ秘密ト申シマスガ、技術上ノ秘密ト謂フカ、各「ソレ」ヲ公開ハナカシナイノミナラズ、互ニ連絡ヲ取ルト云フヤウナ事柄モ、理窟カラ言ヘバ誰モ異論ナイコトデアリマスケレドモ、實際ハナカウマク行カナイ、ソコデ此ノ帝國燃料ガ中心トナリマシテ、人造石油技術組合ト云フモノヲ設ケマシテ、此ノ人造石油ニ關係シテ居ル主ナル方面ノ者ガ之ニ參加致シマシテ、技術上ノ色々ナ事柄ヲ連絡ラシ、又其ノ交換ヲ致スト云フ風ニ致シマシテ、此ノ研究ヲ綜合的ニ進歩セシメルヤウナ仕組ガ出來テ居リマス、最近此ノ協働ノ方面ニ於テ此ノ帝燃ノ使命モ増進サレテ居ルト云フヤウナ狀況デアリマス、ソレカラ次ニ此處ニアリマス會社ノ建設現況ニ付キマシテ、石油合成及ビ水素添加ニ付テ非常ニ長ク建設中ニナッテ居リマス、是ハ實ハ建設ニ相當長イ時日ヲ要スルノデアリマシテ、御説ノ通り機械設備等ニ付テモ、從來戰爭前ハ「ドイツイ」其ノ他カラ輸入スルヤウナ計畫ニモナッテ居タノデアリマスガ、歐洲戰爭以來サウ云フモノモナシテ來ルト、ソレデ日本デ之ヲ造ルト云フコトニナルト、ナカノ合成等其ノ他之ニ要スル特殊ノ施設ト云フモノノ關係ガ、他ノ軍備等ノ關係モアリマシテ、ナカノ建設ガ遅レテ居ルト云フヤウナコトモ相當アルヤウデアリマスカラ、ソコハ時日ハ長ク掛カッテ居ルコトモ實際

上已ムヲ得ナイ、各般ノ事情ハサウナッテ居リマス、併シ大體ニ於キマシテ、私共今年秋位ニナリマスト云フト、是等ノ建設中ナルモノガ、相當程度一部操業ニ入ルヤウニ進行シテ居ルヤウニ見受ケテ居リマス、ソレカラ第三點ノ増資ノ關係ニ於キマシテハ、帝國燃料ガ投資致シテ居リマス關係會社ニ於ケル事業ノ進展ニ伴ヒマシテ、今申シマシタヤウニ色々ナ建設ガ段々進ンデ參リマスコト、更ニ低溫乾溜ノ方法ニ依ルモノハ比較的短時日デ之ヲ完成シ得ルモノデアリマシテ、是ハ急速ニ低溫乾溜事業ヲ内外ノ事情カラ見テ設備スル必要ガアルト云フヤウナ爲ニ、大體昭和十七年度以降、十七年、十八、十九年ノ三箇年ヲ見渡シテ見マシテ、昭和十七年度ニ約四億二千萬圓、十八年度ニ約二億五千萬圓、十九年度ニ約五千萬圓ト云フ資金ヲ必要トスル狀況ニナッテ居リマス、サウシマスルト云フト現在ノ資金計畫ヲ以テシマシテハ、資本及債券ノ發行限度ヲ以テシマシテハ之ニ應ズルコトガ出來ナイ、而モ今申シマスヤウナ事情デ急速ニ此ノ事業ヲ完成シテ行カナレバナラスト云フ必要ガアリマスノデ、今回株式ノ總額ヲ倍額ニ増資シマシテ、債券ノ發行額ヲ五倍ニシテ、以テ此ノ必要ニ應ズルト云フ對策ヲ執ッタ譯デアリマス

○子爵保科正昭君 チョット御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、今大體ニ於テ了承致シマシタケレドモ、最後ニ伺ッタ所ノ資金ノ關係デアリマスガ、段々十七、十八、十九年ト云フヤウニ資金ヲ調達スル爲ニ、資金ガ枯渴ヲ生ズル爲ノ増資デアルト云フコトデアリマスガ故ニ、今日迄資金ヲ調達シタ所カラ返シテ來タト云フ所ハマダ一ツモナク、

又マダソコ迄ニハ行カナイノデ、ドレノ會社モ生産ト云フモノガアルデセウケレドモ、ソレハ同フコトガ出來ルカ出來ナイカ分リマセヌガ、要スルニ返テ來タ金ガ一ツモナイト云フコトダケハ、サウ承知シテ宜シイノデセウカ、ソコヲチヨット伺ヒタイ

ヲ評價シテ之ニ出資スルコトニナリマスカラ、其ノ額ガ確定シマセストハキリシタコトガ分ラナイノデアリマス、斯ウ云フ狀況デ、今日マダ増資ノ額ヲハッキリ申上ゲルコトハ出來ナイノデアリマス

スルガ、是ハナンデスカ、サウスルト例ヘバ日本石油ノ如キ石油鑛業ヲ全生命トシテ居ル會社ノ如キハ、モウ此ノ帝國石油ニ全部合併サレテシマフコトニナルデアリマス

○國務大臣(岸信介君) 其ノ點ハ先程モチヨット申上ゲマシタ通り、此ノ南方諸地域ニ於テ今採油ノ仕事、鑛業ノ方ノ仕事ハ、軍ト帝石ガ協力シマシテ既ニ進出シテ居ル譯デアリマス、唯南方ノ色々ナ事情ニ依リマシテ、南方ニ於キマシテ採油シタモノヲドウ云フヤウナ形デ精油スベキカト云フ事柄ハ目下考究ヲ致シテ居リマスルガ、或地域ニ於キマシテハ此ノ帝石ガ採油ヲ致シマス

○子爵保科正昭君 是モ伺ヘルカドウカ分リマセヌケレドモ、先程モ大臣カラ御説明ガゴザイマシテ拜承シタノデスガ東亞共榮圈ノ石油問題ヲ將來ニ付テ考慮スル上カラ、今日迄ノ所デ、此ノ人造石油ノ產額ガドノ位ノ所迄現實ニ產出シテ居ルカト云フコトハ同フコトガ出來ナケレバ、モウ「ノウ」ト仰シヤツテ一向差支アリマセヌガ、許サレルナラバ御伺ヒシテ見タイト思ヒマス

○子爵岡部長景君 先程モ此ノ鑛發會社ノ場合ニ申上ゲタヤウニ、今度ノ増資ニ付キマシテハ先ヅ法律ノ改正ヲスベキモノデアルト云フ風ニ考ヘテ居ルノデ申上ゲマシタガ、サウ云フ方法ニ依ラナイデ、政府ノ認定ニ依ツテ増資ガ出來ルト云フコトニナツテ居ツタ譯デアリマスガ、從ツテ今大臣ノ聲明サレタ増資額ト云フモノハ、我々カラ言ヘバ一體ハ法律ニ歌ヘル位重大ナモノデアルト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、石油會社ノ場合ハ多少事情ガ違ヒマスガ、大體ノ所デアリマスガ、其ノ他ノモノハ殆ド確定的ナモノト了承シテモ宜シイノデアリマスカ

○子爵岡部長景君 サウシマスト、此ノ石油鑛業ト云フモノハ別ニ統制會ト云フモノヲ作ラズ、此ノ帝國石油ガ統制會ノヤウナ、或ハ統制會以上ノ一ツノ單獨ナル事業ヲ經營主體トシテ南方方面ニ對スル石油事業ヲモ此ノ會社ガヤルコトニナル譯デアリマスカ

○中山太一君 チョット御尋ネシマス、此ノ燃料事業ノ圓滑ナル發展ヲ阻止スル一ツトシテ、物價問題ガ大キナ關係ガアツタノデヤナйкаト思ヒマスガ、之ニ對シテ御當局ノ御考ハ如何デアリマセウカ、人造石油ニ對シテモ其ノ價格ノ決定ガ適當デナイ爲ニ、其ノ事業ノ積極的ナ發展ヲ直接間接阻止シタコトニナツテハ居ラナイカト思ヒマスガ、之ニ付テチヨット……

○國務大臣(岸信介君) 帝國燃料興業株式會社ノ方ハ現在一億圓ノ資本金ニナツテ居リマスガ、之ヲ二億圓ニ増資スル積リデアリマス、ソレカラ帝國石油ノ方ニ付キマシテハ、實ハマダ其ノ總額ニ付キマシテハハッキリシタコトヲ申上ゲ兼ネルノデアリマスガ、ソレハ目下日本ニ於ケル石油鑛業、採油ノ方ノ仕事ヲ總テ帝石ニ統合スルコトニナツテ居リマス、サウシテ目下進行中デアリマシテ、評價財産、鑛業權其ノ他有ラユルモノ

○國務大臣(岸信介君) 大體確定的ナモノト御了承ヲ戴キタイノデアリマス

○子爵岡部長景君 石油ノ價格ノ問題、特ニ人造石油ニ付キマシテハ、是ハ相當天然ノ油ニ比較シマシテ「コスト」ガ高イ事柄ハ御想像出來ルト思ヒマスガ、外國ニ於キマシテモ相當高イノデアリマス、而モ之ヲ助成シ確立シテ行キマス爲ニハ、ドウシテモソコニ何等カノ方策ヲ講ズル必要ガアルノデアリ

○國務大臣(岸信介君) 石油ノ價格ノ問題、特ニ人造石油ニ付キマシテハ、是ハ相當天然ノ油ニ比較シマシテ「コスト」ガ高イ事柄ハ御想像出來ルト思ヒマスガ、外國ニ於キマシテモ相當高イノデアリマス、而モ之ヲ助成シ確立シテ行キマス爲ニハ、ドウシテモソコニ何等カノ方策ヲ講ズル必要ガアルノデアリ

マシテ、從來ハ人造石油ニ對シマシテ相當多額ノ補助金ヲ出シテ、其ノ引合ハナイ範圍ヲ補助金デ「カバール」スルト云フヤウナ政策ヲ執ッテ居ッタデアリマスルガ、本年ノ初カラサウ云フ補助金政策ヲ止メマシテ、全石油ヲ「プール」シテ「プール」平準價格制ニ依ッテヤル、從ッテ嚴正ナル原價計算ヲ致シマシテ、此ノ人造石油ニ對シマシテハソレダケノ値段段價上ゲル、サウシテ或ハ輸入ノ油ニ依ルモノハ其ノ「コスト」ヲ標準ニシテ買入レ、内地ノモノニ付キマシテハ内地ノ「コスト」デ買フ、ソレヲ共販ニ於キマシテ全部「プール」シテ、サウシテ値段段價決メルト云フヤリ方ニ行ッテ居リマス、將來南方諸地域カラ相當油ガ來ルヤウニナリマスト、サウ云フモノモ全部「プール」シテ行クト云フコトニ依リマシテ必要ナモノノ助成ト云フコトヲ行ッテ行クデアリマス

○中山太一君 補助金制度ヲ改正サレテ、「プール」ニ依ルト云フコトデ、其ノ損失ガアリマス場合ニハ、政府ハ其ノ損失ヲ補償サレルコトニナッテ行クカト思ヒマスガ、サウデゴザイマスカ

○國務大臣(岸信介君) 政府ハ損失ヲ補償致シマセズデ、ソコデ從ッテ、全體カラ申シマスト、石油ノ販賣價格ヲ或程度迄値上ラシタノデアリマス、唯値上ラス際ニモ色々今度ハ用途ニ依リマシテ、負擔能力モ考ヘ、色々ナ價格ノ差別ヲ設ケマシテ、生産力擴充ヤ其ノ他物價政策上惡性ノ循環ヲセシメルヤウナコトノナイヤウナ仕組デ、之ヲ全體ニ割振ッテ行ク、全體カラ申シマスト、矢張り石油ノ値段段價ニ割前後位、平均致シマスト其ノ位ノ値上リデヤナカッタカト思ヒマス

○中山太一君 當局ハ大英斷デ、其ノ物價問題ノ一ツノ理念ノミニ四ハレズ、サウ云フ風ニ善處サレタコト云フコトハ非常ニ結構ダト思ヒマス、デ之ニ付テハ色々希望モアリ質問モアリマスケレドモ、モウサウ云フヤウニシテオヤリニナルト云フノデアリマスカラ、繰返シテ申ス必要ハナイト思ヒマス、漫然ト補助金デナク、寧ろ生産量ニ對スル補助金デアラナラバ意義ガアリマスケレドモ、引合ハナイモノニ對シテ只今迄ノヤウナ意味デアルト、政府ノ期待サレル生産量ヲ得ルト云フコトガ困難デハナイカト思ヒマス、尙内地ノ採油ニ付テ深掘其ノ他ニ付テ本會議ニ於テモ過去ニ色々ナ意見ガ述べラレテ居リマスガ、此ノ點ニ付テハ政府ハ十分ニ御研究ナリ、又其ノ方ニ著手サレテ居リマスカ、ドウデセウカ

○國務大臣(岸信介君) 必要ナ場所ニ對シマシテハサウ云フモノノ助成ヲ致シテ居リマス

○中山太一君 其ノ結果相當ニ有望デアルト云フ御見込ガ附イテ居ルノデアリマセウカ、礦業者ガサウ云フ見込ガアルト言ハレテ居リマシテモ殆ド見込ガナイモノデアルカ、其ノ點ヲ承リタイ、尙技術關係ハ非常ニ採油ノ上ニ必要デアリマスカラ、今度設ケラレマシタ技術院トノ關係、斯ウ云フコトハ極メテ緊密ニ而モ積極的ニ之ト關聯シテ、其ノ實績ガ舉ルヤウニ當局ハ考慮サレテ居ルト思ヒマスガ、其ノ點ニ付テモ大臣ノ御考ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(中村大輔君) 只今深掘ノ點ニ付キマシテ御質問ガゴザイマシタ 其ノ點ニ付テ御答ヘ申上ゲマス、日本ノ油田ニ付キマシテハ、御承知ノ通り最初比較的便利

ナ地域カラ手ヲ著ケマシテ、比較的淺イ所カラ油田ヲ採ッテ居リマシタ、併シナガラ其ノ便利ナ所或ハ淺イ所ダケデハ連モイカス、段々不便ナ所モヤル、又其ノ他段々深掘モヤッテ行クト云フ風ニ漸次發展シテ參リマシテ、現在ニ於キマシテハ相當深イモノモヤリツ、アリマス、又深イ所ニ於キマシテモ相當ノ成績ヲ見ツ、アルヤウナ狀態デアリマス

○國務大臣(岸信介君) 石油ニ關スル技術ノ問題デアリマスガ、是ハ御意見ノ如ク、極メテ重要ナ問題デアリマシテ、此ノ技術員ノ養成ニ付キマシテ色々ナル程度ノ技術員ガアル譯デアリマスガ、ソレハ適當ナ施設ヲ講ジマシテ、或ハ各會社ニ技術員ノ養成所ヲ設ケシメテ、政府カラ補助金ヲヤルト云フヤウナ方法デモ採リ、更ニ全體ノサウ云フ技術員ノ養成ノ問題ヲ含メテ、全體ノ石油工業ニ關スル技術ノ向上確保ノ問題ニ關シマシテハ、御話ノ通り極メテ重大ナ問題デアリマスノデ、今後技術院トノ緊密ナル聯絡ノ下ニ遺憾ノナイヤウナ方法ヲ講ジテ參リタイト思ヒマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 午前中ハ此ノ程度ニ止メテ置キマシテ、午後一時半カラ繼續致シマス

午後零時一分休憩

午後一時四十分開會

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ午前ニ引續キマシテ開會致シマス

○子爵河瀨眞君 二、三質問ヲ致シタイト思ヒマス、帝國石油株式會社、此ノ中デ、今回ハ日本石油其ノ外ノ會社ヲ統合スルヤウニナッテ居リマスガ、是ハ現在トシテハ適當

ナコトダラウト考ヘラレルノデゴザイマスガ、併シ統合致シマスト云フト、競争相手ガナクナルノデス、今迄ノ日本ノ石油ト云フモノハ、「アメリカ」ガ大體御師匠サンデアツテ、「アメリカ」カラ色々ナコトヲ教ハッテ居ル、ソレカラ又内地ニ於テハ、各石油會社ガ分立シテ居ッテ爲ニ、競争シテ居ッテ、從ッテ技術ノ進歩ト云フモノガアツタ、處ガ今度は皆井戸掘リノ方ハ一緒ニナッテシマウ、競争相手モ何モナクナッテシマウ、一方ニ教ハル先生ハ居ラナイ、技術ノ低下ト云フコトハゴザイマセヌデスカ

○國務大臣(岸信介君) 今回統合致シマスル關係ハ、石油礦業ニ關スル部分デ、所謂採油ニ付テノ關係デゴザイマス、從來技術的ニ申シマスト云フト、製油ノ方面ニ關シマシテハ、是ハマナ非常ニ技術上ノ色々ナ改善進歩、從ッテ之ニ對スル外國ノ、何ト申シマスカ、非常ニ影響ヲ受ケテ居ッテ居リマス、採油ノ方面ニ關シマシテハ、勿論此ノ方面ニ於キマシテモ、各種ノ技術ノ改善向上ヲ圖ラナケレバナナイコトハ言フヲ俟チマセヌケレドモ、今日日本内地ニ於ケル石油ノ採掘ニ付キマシテハ、大體國家デ方針ヲ定メマシテ、此ノ方針ニ從ッテ資材其ノ他ノ供給ヲシテ、之ヲ採掘ヲ進行セシメテ行クト云フヤウナ形ヲ取ッテ居リマス、特ニ御承知ノ通り、日本ノ比較的狭イ油田ガ澤山ノ會社ニ分屬シテ居リマシテ、礦業權等モ非常ニ錯綜シテ居ル爲ニ、實際ノ採掘ノ上カラ申シマシテモ、非常ニ困難ガアリ、油田ガ完全ニ利用サレテ居ラナイト云フヤウナ傾向モアツタノデアリマス、加フルニ採油ノ方面ニ於キマシテハ日石ト云フモノガ非常ニ大キナモノヲ採ッ

テ居リマシテ、技術力ニ致シマシテモ、設備ニ致シマシテモ其ノ他非常ニ此處ニ從來ノ重點ガアツタ譯デアリマス、其ノ他ノ方面ニ於テハ比較的サウ云フ點ニ於テ十分充實シテ居ラナカッタ云フヤウナ點モアリマスノデ、之ヲ今回帝國石油ニ統合致シマスコトニ依ッテ、從來澤山ナ會社ニ分屬シテ居タ技術力デアルトカ、設備デアルトカ云フモノノ合理的ノ運営ト云フモノノ可能トナッテ、又各社ニ分屬シ、錯綜シテ居タ礦區ノ合理的ノ利用ト云フモノノ進メル、計畫ト致シマシテハ政府ガ立テタ採掘ノ計畫ニ基イテ、之ヲ進行シテ行クト云フコトニ進メテ行ク積リデアリマス、競争ガナクナル爲ニ、特ニ技術ノ向上若シクハ石油ノ採掘ト云フヤウナ事業ガ進展シナイト云フヤウナ結果ニナラナイヤウニ、十分考慮スル次第デアリマス

○子爵河瀨眞君 此ノ帝國石油ト云フ會社ハ、特殊中ノ特殊ノ會社デゴザイマシテ、損失ハ國家ガ補填シ、配當モ國家ガ、若シ出來ナケレバ出スト云フ保證ヲシテ居ル會社デアリマス、從ッテニハ監理官ト云フモノガ設ケラレテ居リマス、監理官ト會計檢査院デスカ、何處カ私能ク分ラナイガ、サウ云フ所ノ關係ハドウナルノデアリマスカ

○國務大臣(岸信介君) 監理官制度ハ斯ウ云フ特殊會社ノ業務執行ノ際ニ、此ノ監理官ト云フモノガ其ノ業務ノ正當ナ執行、即チ其ノ法律ノ本來ノ趣旨ニ副フテ事業ガ行ハレルヤウニ連絡ヲ取ッテ、監理シテ參ル譯デアリマス、會計檢査院ニ於キマシテハ御承知ノ通り斯ウ云フ特殊會社ニ對シテモ會計檢査ガ行ハレテ居リマス、是ハ寧ろ事後ニ於キマシテ會社ノヤリマシタ業務ナリ、

又ハ其ノ會計ノ點ニ於キマシテソレガ不當ナモノヤ、或ハ本來ノ目的ニ背イテ居ルト云フヤウナ點ガアルカナイカ事後ニ於テ檢査致シマス、若シ誤リガアレバ之ヲ訂正スルト云フコトニナッテ居リマス

○子爵河瀨眞君 好イ機會デゴザイマスカラ、燃料ニ關シテ一二伺ヒタイト思フノデアリマスガ、先頃私ハ燃料研究所、商工省ノ燃料研究所ニ參リマシテ、微粉炭ヲ以テスル「ディーゼル・エンジン」ノ運轉ヲ見マシタ、相當ノ成果ヲ擧ゲテ居ルヤウデアリマス、但シマダ實用ニハナラヌカモ知レヌト云フ御話デゴザイマシタ、併シ非常ナ進歩ノヤウデアリマス、之ニ對シテ商工省ハ代用燃料普及ノ上カラシテ、ドウ云フ風ナ御考ヲ有ッテオイデニナリマスカ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(山口眞澄君) 先程大臣カラ御説明モアリマシタガ、南方方面カラ多額ノ石油ガ直グニ來ルコトヲ期待出來ナイ狀態ニアリマス今日ニ於テハ、石油ノ消費量ヲ出來ルダケ節約スル爲ニ、石油代用燃料使用裝置ヲ益々普及強化サセナケレバナナイ狀態ニゴザイマス、就キマシテハ今ノ燃料研究所ニ於テ研究サレテ居リマス微粉炭内燃機關ノ如キモノガ完成サレマスレバ、誠ニ石油、否燃料政策方面カラ言ヒマシテ、誠ニ望マシイコトデゴザイマシテ、出來ルダケ此ノ完成ヲ希望シテ居ル次第デゴザイマス

フヤウナモノハ最モ力ヲ入レテオヤリニナラナケレバナラナイモノト思ヒマス、ドウカ一ツ此ノ上トモ之ノ完成ニ向ッテ御盡力願ヒタイト思ヒマス、尙モウ一ツ伺ヒマス、是モ商工省ノ燃料研究所ノコトデアリマスガ、昨年ノ暮ニ參リマシタ時、色々雜談ノ際ニ燃料研究所ノ定員ヲ減ズルト云フコトヲ聽キマシタガ、其ノ後ドウナッタカ私ハ存ジマセス、或ハサウ云フコトハ此ノ時節柄アラウトハ考ヘナイノデアリマスガ、サウ云フ話モ聽イタノデアリマス、要スルニ燃料研究所ニ對スル海軍及陸軍ガ燃料ニ對シテ努力シテ居ルトハ段違ヒニオヤリニナッテ居ラヌヤウニ私ハ思フノデアリマス、今中上

ガタヤウニ定員ヲ減ズルト云フ話、ドウ位程度本當カ噓カ存ジマセスガ、サウ云フ話ガ出テ居ッタ、サウ云フ話ガ出テ居ル位重シズルドコロノ騷ギデハナイ、陸軍、海軍ハ御承知ノヤウニ之ニ付テ非常ナ力ヲ入レテ居ル、商工省トシテモ此ノ燃料研究所ヲ主體トシテ、是カラ色々民間ニ向ッテオヤリニナラナケレバナラヌコトデアルト私ハ平常考ヘテ居リマス、私ノ見ル處デハ遺憾ノ點ガアルヤウニ考ヘラレマスルガ、商工省ハ此ノ燃料研究所ニ對シテドウ云フ考ヲ持ッテオヤリニナッテ居リマスカ、伺ヒタイト思ヒマス

ハ國防ノ見地カラ特殊ノ御研究ニナッテ居リ、何カシテオイデニナリマスガ、同時ニ是等ノ機關ト緊密ナ連絡ヲ取リツ、燃料研究所本來ノ使命ヲ十分果サシメルヤウニ努力ヲ致シテ參ラナケレバナラヌコトハ言フヲ俟タナイノデアリマス、唯特ニ最近ノ情勢ヲ申シマスト云フト、斯ウ云フ各種ノ試驗研究機關ニ於ケル資材ノ配給ノ點、竝ニ此處ニ於テ研究ニ從事スベキ技術者ノ點カラ、即チサウ云フ技術者ニ對スル各方面ノ要望ガ非常ニ強イ爲ニ、十分落著イテ此處ニ必要ナ技術力ヲ持ツト云フコトガ相當困難ナ狀況ニアリマス、サウ云フヤウナ事柄ガ色々錯綜致シマシテ、今御意見ガアリマシタ通り、今日迄ノ何トシマシテハ遺憾ノ點モ少クナイト思ヒマシテ、私共トシテハ燃料問題ノ重要性ニ鑑ミマシテ、從來モ其ノ考デ居ッタノデアリマスガ、今後ト雖モ此ノ必要ナル研究、試驗等ニ付キマシテハ、十分其ノ設立ノ趣旨ニ適ヒマスヤウニ力ヲ盡シテ參リタイト斯ウ思ッテ居リマス

○子爵河瀨眞君 私人質問ハ是デ終リマス

○野村德七君 今般占領サレマシタ「ボルネオ」ノ「パリック・パパン」ナリ、「タラカン」ノ油田ハ、蘭領東印度デモ相當重要ナ油田ノヤウニ表デモ拜見シマスガ、色々占領當時傳ヘラレテ居リマス所ニ依リマス、相當破壞サレタリ、或ハ火災ナドヲ起シテ居ルヤウナコトモ傳ハッテ居リマスガ、實際ハドウ云フ狀況デアリマセウカ、又只今ノ日本ノ技術カラ言ヘバ、之ヲ原形ニ回復シテ相當ナモノニスルト云フコトノ程度ヲ、速記ヲ御止メ下サツテモ宜シイデスシ、又只今此處デ御答ヲ得ラレナケレバ得ラレナイデモ結構デアリマスガ、御話ガ伺ヘレバ伺ヘ

ル範圍ヲ結構デアリマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) チョット速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ始メテ……

○子爵保科正昭君 私一ツ伺ヒタイノハ、午前ニモ帝國燃料興業及帝國石油ノ兩會社ノコトニ付キマシテ資金ノコトヲ伺ヒテ見タシ、又御願ヒモシナケレバイケナイコトダラウト思ヒマスノハ、隨分人造石油ヲ造ルト言ヘバ、此ノ會社ノ方デハ一體ソレガドノ位ノ能力ガアルカ、ドノ位ノ製造力ガアルモノカ、ドノ位ニ設備ガアルカト云フヤウナコトヲ調べテモ、現在成績ガ十分譽テ居ナイ、詰リ是迄ノ記録ガナイノデスカラ、或程度ハ疑問ニ屬シテ居ル點ガ多イカラ、ドウシテモ今許シテ行カナケレバナラナイ、許スト雖ガ出願シタノニモ許スト云フコトニナラデ、ソレガ爲ニ資材ダトカ、許サレバ資材ト金トハ貰ヘルノデスカラ、例ヘバ妙ナ、完全ニ行カナイ、能率ガ悪いモノデモ矢張りソレダケノ待遇ヲ受ケテ居ル、其ノ結果滿洲邊リ等デゴザイマスト、無論御承知デアリマセウガ、ドコノ山ヘ行ッテモ、ドコノ村ヘ行ッテモ、町ヘ行ッテモ、斯ウ云フヤウナ種類ノモノガ林立シテ居ッテ、ソレニ一々補助金ト資材トガ供給サレル結果、資材ヤ資金ガ有效ニ働カナイ、詰リ寢テシマッテ居ル資材ト云フモノガ澤山アルコトニナリハシナイカト私ハ思フ、ソレガ爲ニハ休眠鑛區ヲ開發スル會社ガ出來ル、ソレガ帝國燃料興業開發株式會社デスケレドモ、終ヒニハ休眠シテ居ル工場ヲ

再興サセル會社ガ起ラナケレバナラナイト云フコトニ行ッテシマヒハシナイカト思フ、此ノ點ハドウモサウ云フコトデヤ幾ラ資材ガアッテモ寢テシマウ、幾ラ資金ヲ廻シテモ有效ナ處ニ廻ッテ行カナイト云フコトデハ誠ニ困ルノデアリマセウガ、其ノ邊ハドウデアリマセウカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、モウ一ツ、ソレヲ伺フ前ニ焦點ニ觸レテ見タイノハ、單ニ合成石油ダケヲヤッテ居ル會社モアリマスケレドモ、一ツニハ合成石油ト乾溜ト兩方ヤル會社ガアル、其ノ乾溜ノ方デハ、是ハモウ合成ト違ッテ、既ニ實績ガ度々アルコトデスカラ、出來ルト云フコトハ確實デアリマスシ、又其ノ擴張モ出來マスカラ、ソレガ擴張シテ行ッテ、或程度迄行クト、其ノ資本デ以テ片方ノ合成ヲヤルト云フヤウナ會社ヲヤッテ見ル、ソレデ以テ得タ所ノ資金ガ片方ヘ廻ハッテ、合成ト云フノハ看板ニシテ、打出ノ小槌ト云フヤウナコトニナリハシナイカ、ソコノ所モ併セテ伺ヒタイノデアリマス

○國務大臣(岸信介君) 人造石油ノ製造事業ノ獎勵、竝ニ此ノ事業ノ確立ニ關シマシテハ、今御話ノ通り、資材等ノ經費ニ相成ッテモイケマセヌシ、是等ノ仕事ハ何レモ高級ノ技術ヲ要スルモノデアリマス共ニ、相當規模ノ大キサニ之ヲヤリマセヌト云フト、實ハ單位トシテモ相當ナ程度ヤル必要ガアルノデ、從ッテ資金ノ上カラ申シマシテモ、相當ナ資金ヲ持ッテ居ル處デナイトヤレナイノデアリマス、從ヒマシテ、今日デハ企畫院ニ於キマシテ、我々モ協力致シマシテ、日本ニ於ケル人造石油事業、日滿ヲ通ジマシテ、ドウ云フ風ナ企業體ニ、ドノ規模デ、ドウ云フ方法ノモノヲヤラセルカト云フコトヲ詳細ニ檢討致シマシテ、サウシテ各社カラ計畫ヲ出サセテ、此ノ計畫ヲ更ニ檢討シテ、ドウ云フ方法デ、ドノ規模デヤル、是ニハドレダケノ資金ヲ要シ、ドレダケノ資材ヲ要スル、之ヲヤラウトスル會社ガ從來ノ技術經驗カラ言ウテ、ソレヤルダケノ技術經驗ヲ持ッテ居ルカドウカ、又將來ノ資金計畫トシテモ十分ソレダケノ資金ヲ作レルカドウカト云フヤウナ點ヲ檢討致シマシテ、具體的計畫ヲ定メ、更ニ之ヲ年次計畫ニ制當テマシテ、具體的ニ各社ヲシテ其ノ計畫ニ基イテ、物動計畫ニ依ル資材、勞務、資金等ノ供給モ考ヘテ居リマス、今御話ニナリマシタヤウニ、此ノ事業ニ投ゼラレル所ノ資金ナリ、或ハ資材ナリト云フモノガ、結局未動遊休ノヤウナ形デ、空シク殘ッデシマウト云フコトニナラナイヤウニ特ニ意ヲ用ヒテ計畫ヲ進メテ居リマス、又一ツノ社ガ、從ヒマシテ低溫乾溜ト水素添加、合成ト云フヤウナモノヲ兼ネテヤリマス場合ニ於キマシテモ、資金、資材等ノ具體的計畫ニ於キマシテ、ドレダケノモノハ低溫乾溜ノナシデヤリ、ドレダケノモノハ水素添加ナリ、合成ナリデヤルト云フコトヲハッキリ計畫トシテ定メマシテ、ソレニ基イテ資材ヤ其ノ他ノモノノ配給ヲスル、又會社モソレニ從ッテ計畫ヲ進メ、事業ヲ經營シテ行クヤウニ十分監督モシ、指導モ致シテ居ル譯デアリマス

○子爵保科正昭君 何分宜シク願ヒマス、是デ私ノ質問ヲ終リマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 若シモ御質問ガナケレバ、只今野村君ノ御請求ノハ、陸海軍ノ人ガ見エテカラ更ニソレニ移ルコトニ致シマシテ、次ノ問題ノ重要物資管理營團法案ニ移リタイト思ヒマス、ソレニ關シマスル御質疑ヲ願ヒタイト思ヒマス

○子爵岡部長景君 一、二伺ッテ見タイト思フノデスカ、此ノ重要物資ノ範圍ハ、命令ヲ以テ定ムト云フコトガ第一條ノ第三項ニアリマスガ、此ノ大體範圍ハドウ云フ御見込デアリマセウカ、ソレヲ伺ヒタイノガ一ツ、ソレカラ色々事業ヲスルニ付テ第二條ニ必要ノ地ニ從タル事務所ヲ設置スルコトヲ得「ト云フヤウナコトニナッテ居リマスガ、大體ドノ位ノ程度ノ機構ヲ御豫定ニナッテ居ルノデアリマセウカ、此ノ二點ヲ伺ヒタイト思ヒマス、茲ニ戴イタ參考資料ノ中ニ、今質問シタ或部分ハ、第一條ニ適用範圍ガ出デ居リマスカラ、是ハ是デ宜シウゴザイマス、或ハ之ヲ更ニモット説明シテ戴ケバ尙結構ト存ジマス

○國務大臣(岸信介君) 政府委員ヨリ御答ヘ致シマス

○政府委員(神田運君) 取扱ヒマス品目ハ……チョット速記ヲ止メテ戴キタイト思ヒマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ始メテ……

○子爵岡部長景君 此ノ適用ヲ受ケル物資ノ範圍ノ關係デ伺ヒタイノデスカ、此ノ資本金ガ約二千萬圓ト云フコトニナッテ居リマスガ、今御話ノヤウナ金額ノモノヲ扱フノニ、二千萬圓ノ資本金デ足リルノデゴザイマスガ、無論債券發行ハ出來ル譯デアリマセウケレドモ、十倍ノ債券ヲ發行シテモ足りナインデヤナイカト考ヘマスノ

デ……或ハ今舉ゲラレタ金額ハ申シマセヌ
ガ、ソレ等ニ付テ、是ハ一々買取ラレルノ
デスカ、或ハサウデナク何カ他ノ方法ヲ以ッ
テ保管或ハ貯藏ヲ命令サレルノデアリマス
カ、ソコニ付テ一ツ伺ヒタイト思ヒマス
○國務大臣(岸信介君) 資本金二千萬圓ハ
大體ハ政府ガ國債證券デ交付シテ貰ヒマ
シテ、其ノ利子ヲ以テ事務費ヲ賄フ考デア
リマス、サウシテ今申上ゲマシタ物資ハ數
億ニ上ルノデアリマスガ、ソレヲドウ云フ
風ニ取扱フカ、大部分ハ是ハ一時買取ッテ又
物動計畫ニ基イテ適當ニ之ヲヤルト云フコ
トニナルト思ヒマスガ、此ノ資金ニ關シマ
シテハ、大體此ノ借入金デ之ヲ行フ積リデ
居リマス、他ノ營團法ノ如ク、債券ノ發行
ハ實ハ認メテ居リマセヌ、ト申シマスノハ
何レモ是等ノ保管ハ一年ニ何回カ廻轉スル
ヤウナ性質デアリマシテ、要スルニ資金ハ
數億ニ上リマスケレドモ、大部分短期ノ性
質ヲ持ッテ居リマスノデ、借入金ニ依ッテ之
ヲ保管スル積リデゴザイマス、サウシテ此
ノ會社ハ借入金ノ利子デアルトカ、或ハ
保管致シマス場合ノ倉敷等ニ付テ損失ヲ蒙
ルコトニ相成ルト思ヒマスガ、其ノ損失ハ
政府ガ之ヲ補償スル、別途六千數百萬圓ノ
豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲シテ
居ルノデアリマシテ、其ノ損失ハ政府ガ
補償スル、斯ウ云フ積リデ居リマス

○子爵岡部長景君 サウシマス此ノ物資
ノ貯藏等ハ、從來ノ各種ノ設備ヲ皆利用サ
レルコトニナル譯デアリマスガ、ソレニ付
テハソレ等ノ設備ヲ今持ッテ居ルモノヲ微
用スルト言ヒマスガ、買取ルト言ヒマスガ、
サウ云フコトニナリマスガ、或ハソレヲ矢
張り借りテ使フト云フヤウナコトニナルノ
デアリマスガ
○國務大臣(岸信介君) 大體貯藏スル場所
ハ從來多クノ物資ハ皆倉庫ニ入ッテ居リマ
シテ、其ノ儘デ倉庫ヲ利用スルコトニ依ッテ
貯藏スル積リデアリマシテ、特ニ此ノ營團
自身ガ直營ノ倉庫ヲ設ケマスカ否カニ付キ
マシテハ、今日ノ所ハ特ニソレヲ急イデ直
營ノモノヲ造ルトカ、或ハ他ノ倉庫業者カ
ヲ買取ッテ、自分ノ倉庫ニスルト云フコトハ
考ヘテ居リマセヌ、デ從來ノ儘之ヲ利用シ
テ行ク、唯先程モ政府委員カラ御説明申上
ゲマシタ通り、將來南洋等カラ新タニ物資
ガ入ッテ來ルト云フコトニナリマス、現在
ノ日本ノ倉庫能力ダケヲ以テシテハ、是等
ヲ貯藏スル適當ナ場所ガナイト云フヤウナ
コトニナリマシテハ、營團ガ或程度倉庫ヲ
建築シテ持ッテ云フヤウナコトニ相成ラウ
カト思ヒマスガ、差當リハ從來ノ倉庫ヲ借
リテヤルト云フ考ヘデアリマス
○子爵岡部長景君 サウシマス此ノ物資
ハ大體ハ都會ニ集中サレテ居ルモノナンデ
アリマセウカ、或ハ地方的ニ散在シテ居ル
ノデハナイ性質ノモノデアリマセウカ、從ッ
テ今ノ事業所、事務所モ、今舉ゲラレタ數
大都會ダケニ事務所ヲ持ッタノデハ、細カ
イ仕事ハナカノ手ガ廻リ兼ねル、矢張り
各府縣各郡ト云ツヤウナ小サイ事務所ヲ
系統的ニズツ設ケラレルコトニナルノデ
アリマスガ
○國務大臣(岸信介君) 大體ハ先程、品目
ハ相當多數ニ上ッテ居リマスガ、之ヲ極ク大
別致シマスと云フト、戰時下ニ於ケル此ノ
國民生活ヲ確保スル爲ノ生活必需品ノ或モ
ノト、大部分ハ生産力擴充用、若シクハ軍
需ニ關聯致シマシテ、國防經濟上重要物資

ト云フモノガ大部分デアリマス、從ヒマシ
テ其ノ需要サル、方面モ大部分ハ矢張り此
ノ都會のナ方面ニ多イト思ヒマス、併シ今
迄ノ此ノ狀況ハドチラカト申シマスと云フ
ト、東京トカ、大阪トカト云フ京濱地方ヤ、
阪神地方ニ殆ド集中シテ、矢張り斯ウ云フ
ヤウナ物資ガアルヤウナ關係ニナッテ居リ
マス、將來ノ、又此ノ戰時下ノ色々ナ事態
ヲ考ヘマシテ、地方分散計畫ト云フモノヲ、
保有ノ分散計畫ヲナサシメテ、是等ニ持ッ
セル、大體全國ヲ何區カニ分ケマシテ、其
ノ中心地ニ事務所ヲ置クト云フコトニ致シ
テ、之ヲ借入レルト云フコトニ致シテ居リ
マス、ソレ以上事態ニ應ジマシテ色々ナ關
係ヲ考慮シテ、事務所ハ必ズシモ先程申シ
マシタ處ニ限定スルト云フ譯デハアリマセ
スケレドモ、大體現在ノ狀況カラ申シマス
ト云フト、其ノ下ニ更ニ縣トカ、郡トカト
云フヤウナ處ヘズツ系統的ニ事務所ヲ澤
山作ッテ、ソレデ何シテ行クト云フコトハ一
應考ヘテ居リマセヌデ、大キナ區域別ニ保
有其ノ他ノ仕事ノ中心地ヲ置キマシテ、現
實ニ保管サレル所ノ倉庫等ニ付キマシテ
ハ、更ニ其ノ事務所ノ所在地ノミナラズ、
廣イ範圍内デ必要ニ應ジテ何サレルカト思
ヒマスガ、全國ニ小サキ系統的ニ事務所ヲ
作ルト云フ考ハ持ッテ居リマセヌ
○子爵岡部長景君 サウシマス、此ノ扱
ハレル物資ハサツキ舉ゲラレマシタヤウナ
品目ノモノハ全部ヲ此ノ營團デ以テ管理ス
ルト云フ譯ナンデスカ、必要ナ數量ダケヲ
管理シテ、アトハ矢張り從來ノヤウニ個人
ノ營業ニ委シテ置クト云フ御考ナンデスカ
○國務大臣(岸信介君) 是ハ物ニモ依リマ
スケレドモ、大部分ノ物資ニ付キマシテハ

必要量ニ限ッテ管理ラスル、大部分ノモノハ
ズツ流レテ行ク、併シナガラ或モノハ物動
ノ確保、又物資ノ必要ニ應ズル爲ニ是ガ行
ク、斯ウ云フコトデアリマス
○子爵岡部長景君 此ノ第一條ノアトノ方
ニ、第一項ニ「重要物資ノ利用ヲ有效且適
正ナラシムル」ト云フコトガアリマスガ、
此ノ營團ハ別ニ何ニモ加工のナ工業ノ經營
ハナサラナイノデスカ、或ハ矢張り此ノ營
團デモ必要ノ場合ニハサウ云フコト迄モナ
サル御考デアリマセウカ
○國務大臣(岸信介君) 是ハ加工ハシナイ
積リデアリマス、保有ヲ致シマシテ、政府
ノ物動計畫其ノ他ノ何ニ應ジマシテ之ヲ配
分シテ行ク、ソレニ依ッテ物資ノ需要率ヲ高
メルト云フ積リデ、之ガ加工若シクハ製造
ヲ致サナイ
○子爵保科正昭君 私ハ之ノ作用ニ付キマ
シテ實體のニ伺ヒタイノデアリマスルガ、
茲ニ今段々伺ッテ見マス、此ノ會社ハ詰リ
或程度ノ量ヲ保有シテ置ク、詰リ例ヘバ
「エー」ト云フ物資ガ社會ノ重要物資デア
ルト云フコトニナッテ、此ノ「エー」ノ三分
一「エー」ト云フモノハ自由ニ其ノ店屋ニ出
シテ置イテ、三分ノ二「エー」ト云フモノヲ
此ノ會社デ抑ヘテ置ク、三分ノ一「エー」ガ
賣レテシマッタナラバ、此ノ會社ニ頼ンデ廻
シテ貰ヒタイト言ヘバ、又三分ノ一ヲ廻シ
テ世ノ中ニ出シテ、残りノ三分ノ一ハ保管
シテ置ク、ソコデ此ノ會社ガ外カラ、ソレ
デモ社會ノ需要ニハ足りナクナルカラシテ、
又三分ノ一「エー」ト云フモノヲ買ヒ込ンデ
來テ、三分ノ一「エー」ヲ出スト云フヤウ
ナ、詰リ三分ノ一ヲ勝手ニ店デ賣ラセテ置
イテ、三分ノ二ダケハ何時デモ常時國家ト

シテノ必要ニ應ジテ保管ヲシテ置クト云フ、其ノ會社デアルヤウニ考ヘラレルノデアリマスルガ、ソコデ此ノ會社ガ三分ノ二「エー」ト云フモノヲ何處ニ置イテ置クカト云ヘバ、ソレハ「矢張り倉庫ニ收メテ置カナケレバナラス、ソコデ私ノ質問ノ分ヲナイ所ニ觸レテ行クノデスガ、今頂戴シタ參考書」二「ト云フ所ニ「保管統制ノ強化」ト云フコトガアリマシテ、一「トシテ「保管計畫ノ設立」ト書イテアッデ、ズット行ッテ二「倉庫業ノ統制ノ強化」トアリマスガ、一體ソコデ倉庫業ト云フモノヲ前段ニ私ガ申上ゲタ譯ダガ、活用シテ來ナケレバイケナイノダガ、倉庫ニ其ノ品物ヲ外カラ政府ノ力デ輸入シテ來テ、倉庫ニ收メレバ、其ノ倉庫ニ於テハ倉荷券ヲ出ス、此ノ倉荷券ハ今度何處ヘ行クカト云ヘバ、銀行ヘ行ッテ割引シテ來テ、此ノ會社ガ買ツタ物ヲ賣ツタ人ノ許ニ行ク、斯ウ云フコトニナルノデスケレドモ、其ノ邊ノ所ハ、此ノ會社ハ一體ソレヲ矢張りヤッテ行クト云フノデアリマスガ、ソレトモドウスルカ、其所ノ所デスナ、最後ニ伺ヒタイ所ハ……

○政府委員(神田運君) 本營團ノヤリマス仕事ハ、總テ物資動員計畫ニ基キマシテ、法律的ニ申シマスナラバ、總動員法ニ依リマス物資統制令ノ運用ニ基キマシテ、其ノ通り實行スル機關ニ相成ッテ居ルノデアリマシテ、即チ物動計畫上一定ノ留保分ヲ絶エズ貯ヘテ置ク、サウ云フコトニナッテ居リマスガ、其ノ留保分ヲチャント握ッテ居ッテ、何時デモ急ニ應ジマシテ其ノ品物ヲ必要ナ方面ヘ流スト云フ、待機的な仕事ヲスルト云フノガ本來ノ目的ナノデアリマス、從ヒ

マシテ倉庫ハ從來ノ倉庫業者ノ倉庫ヲ使ヒマス、其ノ場合ニ若シ倉庫ガ他ノ物デ一パイニナッテ居ルト云フヤウな場合デアッテ、而モ此ノ營團ガ貯藏スルモノヲ貯藏サセナケレバナラスト云フ時ニハ、物資統制令ニ基キマシテ政府ガ倉庫業者ニ保管ノ命令ヲ出ス、斯ウ云フ恰好ニナル譯デアリマス、サウシテ物動計畫上決メラレタモノハ絶エズ此ノ營團ガ貯藏シテ置クト云フコトニナリマスノデ、從ヒマシテ此ノ營團ガ倉庫ニ入レテ居リマシテモ、其ノ倉庫證券ト云フヤウナモノヲ他ニ持ッテ行キマシテ金融ノ途ヲ講ズルトカ、サウ云ツタ事態ハ起ラナイノデス、唯物ヲ引渡ス關係上證券其ノ他ノモノニ依ッテ引渡ヲ完了スルト云フヤウナコトハゴザイマススケレドモ、他ノ一般商品ヲ倉庫ニ入レマシテ、其ノ證券ヲ融通ニ依ッテ金融ノ途ヲ講ジテ行クト云フヤウナコトハ此ノ營團ニ關シマス限リ行ハレナイ、斯ウ云フヤウニ相成ッテ居リマス

○子爵保科正昭君 モウ一ツ伺ヒタイノデスガ、製造業者ガアッテ、中間業者ガアッテ、販賣業者ガアルト云フ建前カラ、此ノ會社ガ中間業者ニナッテ、製造業者カラ小賣業者ニハ常ニ物ガ行カナイデ、始終此處ヲ通過シテ行クト云フコトニナラナケレバ、一定量ガ何處ヘ流レテ、何處デドウナッテ居ルト云フコトガ分ラナイト云フコトニナルカラ、詰リ是ハ一手デ仲買ヲヤルト云フコト迄行カナケレバ、本當ニドウ物資ガドウナッテ居ルト云フコトヲ物動計畫上明瞭ニシテ行クト云フコトハ出來ナクナルト思フ、サウナレバ此ノ營團ト、ソレカラ製造業者トノ間ノ關係ト云フモノヲドウ云フ風ニ結び付ケルカ、ソコデ其ノ營團ニ金ガアルノダカラ、

其ノ金デ以テ一度買ツタモノヲ、小賣業者ニ營團カラ卸ス時ニハ、買ツタヨリモ高く賣ッテ營團ガ儲ケテ行クト云フコトニナルノカ、ソレトモ營團ヲ外シテ行ク一ツノ途ガソコニ出來ルモノカ、ソコノ所ヲ伺ヒタイ

○政府委員(神田運君) 物品ガ製造業者カラ消費者ニ向ヒマシテ流レル過程ニ於キマシテハ、一應保管營團ト云フモノハ關與シナイノデアリマス、物資動員計畫ニ基キマシテ、例ヘバ此ノ鐵鋼ハドウ云フ機械ニ向イテ行クノダト云フコトハ、物動計畫決リマシテ、其ノ決ッタ鐵鋼ハドシノ營團ニ關係ナク問屋カラ小賣ヲ通ジマシテ消費者ニ行ク譯デアリマス、此ノ營團ガ扱ヒマスモノハ、物資動員計畫上使フ當テ決メマセシ、一定ノ全體ノ何割カハ使フ當テ決メマセシデ保有スル譯デアリマス、物動計畫ガ進行シテ行ク中間ニ於キマシテ、方方ニ色々ナモノガ必要ニナッテ來ル場合ガアリマス、例ヘテ申シマスナラバ、其ノ最モ手近ナ例ヲ申シマスレバ、空爆ガアッタ時ニ、其ノ直グノ補修用ト云フヤウナモノヲ貯藏シテ居リマス物カラ持ッテ行クト、斯ウ云フ風ニ初メカラ物動計畫ノ用途ガ決リマセヌデ、一應保有シテ置クト云フヤウナ物ヲ此ノ營團ガ保有スルト、斯ウ云フ恰好ニ相成ッテ居リマス、尙此ノ營團ガ取扱ヒマス物資ニ付キマシテハ、買入レマシタ價格、買入レマス時ニハ大體公定價格ノアリマスモノニ付キマシテハ公定價格、協定價格ガアリマスモノハ協定價格ニ依ッテ、此ノ營團ガ買入レル譯デアリマスガ、其ノ同ジ値段デ今度ハ賣渡ス、或ハ統制會社ノ方面ヘ一定數量ヲ流シマスツカ、又先程申シマシタ不時ノ災害ノ復舊用トシマシテ、特殊ノ工

場等ニ渡ス場合ガアリマスガ、サウ云フ場合ニハ何レモ買入レマシタ時ノ公定價格、或ハ協定價格ニ依ッテ引渡シマシテ、其ノ中間的ニ此ノ營團ガ手数料其ノ他ノ金錢ヲ取ルト云フコトハナイノデアリマシテ、此ノ營團ノ經費ハ總テ先程大臣ガ申上ゲマシタヤウニ、二千萬圓ノ利子デ賄ヒマスノト、金利、倉敷、其ノ他ノ保管上生ズル損害ニ付キマシテハ、政府ガ補填金ヲ出シマシテ補ッテ行ク、斯ウ云フ恰好ニナリマス

○子爵保科正昭君 私ノ伺フコトハソレダケデス

○子爵岡部長景君 チョット今伺ヒマシタ御説明ニ依ルト、差當リ用途ノハッキリシナイ物ヲ保有シテ行クト云スコトデアリマスガ、サウシマス、今デモ物資ガ非常ニ缺乏シテ居ル際ニ、又サウ云フ物ヲ脇ヘ取ッテ置カレルト云フコトニナルト、益、物資ノ缺乏ヲ甚ダシカラシメルモノデアルト思ヒマスガ、已ムヲ得ナイト言ヘバソレ迄デスケレドモ、ソレ等ニ付テハドウ云フ風ニ御考ニナッテ居リマスカ

○政府委員(神田運君) 御話ノヤウニ非常ニ窮屈ニナッテ參ッテ居ル所ヘ、此ノ留保分ヲ持ツト云フコトハ、如何ニモ物動計畫上矛盾スルヤウニ考ヘラレルノデアリマスケレドモ、實際問題ト致シマシテ、計畫ヲ立テマシテ、ソレヲ實行ニ移ス場合ニハ、色色修正ヲ實際上ヤッテ行カナケレバナラスト云フコトガ實際問題トシテ出テ參ルノデアリマス、留保シタモノハ、ズット何時迄モ保留スルノデナクシテ、寧ろ其ノ物動期間中ニ使フ譯デアリマススケレドモ、補修ヲシツ、使ッテ行ク、一應ノ計畫トシテハアリマスケレドモ、其ノ計畫ヲ實行スル場合ニ、

或ハ鐵ガアツケレドモ、銅ガ實行上計算上
多少違フテ居テ不足ヲ來スト云フ爲ニ、生産
ガ進行シナイト云フヤウナコトガ、實際問
題トシテハ頻々トシテ起ツテ參リマス、特ニ
計畫のニヤリマス色々ノ工場ニ關シマス物
動デアリマス、割合正確ニ行クノデアリ
マスアレドモ、消費物資等ニ付キマシテハ
ナカノ推定ト云フモノハムヅカシイ譯デ
アリマシテ、大體是位辛抱出來ルダラウ
ト考ヘマシテモ、其ノ過程ニ於テ色々ナ不
足狀況ヲ來シテ、殊ニ地區のニサウ云フモ
ノガ起ツテ行ク、其ノ爲ニ社會的不安ヲ生ゼ
シメルト云フコトガ起ツテ參リマス、サウ
言ツタ場合ハ、修正ヲ此ノ貯藏機關ヲ通ジテ
圓滑ニ行ハシメル、斯ウ云フ考デ居ルノデ
アリマス

○子爵岡部長景君 此ノ點ニ付テハ、餘程
實際ニ適合シタ、周到ナ注意ヲ以テヤラス
ト、机上ノ算盤バカリ合ツテモ、實際ハ非常
ニ逆ナ結果ガ現ハレテ來ルト云フコトハ、
隨分先例モ少クナイト思ヒマスカラ、是ハ
當局トシテ、殊ニ御注意ヲ願ハナケレバナ
ラヌコトト思ヒマス、ソレカラ序ニ伺ヒタ
イト思ヒマスガ、此ノ營團ハ南方地域ニモ、
矢張り何ト云ヒマスガ、發展シテ其ノ事業
範圍ノ區域ト爲サル譯デアリマス

○國務大臣(岸信介君) 此ノ法律自體ハ、
言フ迄モナク内地ダケニ適用サレテ居リマ
シテ、外地ニハ、勿論適用サレテ居ラス譯
デアリマスガ、併シ此ノ重要物資管理營團
ノ事業地ト申シマスガ、色々取得シ、保有
スル場所ト致シマシテハ、私共内地ニ限ル
譯デヤナシニ、外地、或ハ廣ク南方諸地域
ヲモ考ヘテ居リマス、併シ現實ノ問題トシ
テ、目下ノ情況ハ、總テ軍ノ特別會計デ、

南方諸地域ノ物資ハ獲得サレテ、サウシテ
コナラヘ持ツテ來ラレルト云フ組織ガ採ラ
レテ居リマスカラ、結局サウ云フ物資ニ付
キマシテハ、重要物資管理營團ハ内地ニ於
テ、軍特別會計カラ軍需ヲ引イテ、民需ニ
渡サレル所ノモノヲ、此ノ管理營團ニ渡サ
レテ、適當ニ保管シ、配分スルト云フコト
ニナル、今日此ノ管理營團ガ直チニ南方諸
地域ニ、直接出掛ケテ行ツテ物資ヲ獲得ス
ル、若シクハ其ノ地デ保有スル、斯ウ云フ
コトハ當分ナカラウト思ヒマス、併シ將來
ノ事態ノ發展ニ鑑ミマシテハ、御話ノヤウ
ナコトガ出來ルコトト豫想シテ居リマス

○子爵岡部長景君 ソレニ關聯シテ、サウ
云フコトハ今ハナイトスレバ、或ハ今ノ所
ハ必要ナイカモ知レマセヌケレドモ、將來
ハ増資ヲ要スルト云フコトモアリ得ルト云
フ御考デアリマセウカ

○國務大臣(岸信介君) 資本金ノ増加等ハ、
事態ノ變化ニ應ジマシテ、其ノ必要ガアル
場合ニ於キマシテハ、考ヘテ行カナケレバ
ナラヌト思ツテ居リマス

○子爵岡部長景君 私ノ希望トシテハ、前
ノ三案ニアリマシタヤウナ資本金ノ増額ト
云フヤウナ必要ガ起ツタ場合ニハ、今ノ三案
ノ先例ニ依ラズニ、矢張り法律改正ヲスベ
キモノデナカラウカト思フノデアリマス
ガ、是ハ別ニハッキリシタ御約束ト云フコト
ハ出來マスマイケレドモ、サウ云フ考ヘ方
ニ付テ、御同意ガ得ラレルモノデアリマセ
ウカ

○國務大臣(岸信介君) 此ノ法律ト致シマ
シテハ、ハッキリ資本金ノ額ヲ二千萬圓トシ
テ居リマスシ、増資ノ場合ヲ規定シテ居リ
マセヌカラ、ドウシテモ資本金ヲ増加スル
場合ニハ法律改正爲サレナケレバナラス、
其ノ際ニ資本金増加ノ規定トシテ、例ヘバ
二千萬圓ヲ五千萬圓ト變更スルト云フヤウ
ニ、ハッキリ出シマスカ、或ハ今出シテ居リ
マス三案ノ如ク、前項ノ外、政府ノ認可ヲ
受ケテ増資ヲ爲スコトヲ得ト云フヤウナ規
定ニスルカニ付キマシテハ、御意見モアリ
マスノデ、篤ト將來ノ問題トシテハ考究致
スコトニ致シタイト思ヒマス

○塚本清治君 重要物資管理營團ハ、重要
ナル物資ヲ保管スルニ當ツテ、其ノ物資ノ所
有權ヲ獲得シテ保管シ、若シクハ獲得シナ
イデ、所有權ハ他人ニアルモノヲ保管スル
コトモアルノデアリマセウカ、常ニ所有權
ヲ獲得スルノデセウカ

○政府委員(神田運君) 此ノ營團トシマシ
テハ、原則トシマシテ所有權ヲ獲得シマシ
テ、自分ノ商品トシマシテ保管スル譯デア
リマス、唯例外トシマシテ、先程申上ゲマ
シタヤウニ、特殊ノ機關ヲシテ保有セシメ
ル場合ガアル譯デアリマス、先程チヨット例
デ申上ゲマシタガ、石炭ニ付テ申シマスナ
ラバ日本石炭ト云フモノニ保有セシメマシ
テ、其ノ保有ニ要シマス金利、倉敷、或ハ
ソレニ依ツテ生ズル損害ト云ツタヤウナモノ
ヲ、此ノ營團カラ金ヲ出シテヤッテ保管セシ
メルト云フ場合ガ、例外トシテゴザイマス
ガ、原則トシテ營團自身ガ所有權ヲ得テ保
管スル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○塚本清治君 其ノ保管セムトスル物資ノ
所有權ヲ獲得スルニ當ツテハ、先刻來ノ御説
明ニ依リマス、物資統制令ニ依ツテ得ラル
ルヤウニ承リマシタガ、ソレハ政府ノ權力
デ所有權ヲ獲得セシメラル、ノカ、或ハ政
府ガ獲得シテ、サウシテ此ノ營團ニ所有權

ヲ移サレルノカ、此ノ營團自身ガ強制買取
ヲシテ、所有權ヲ獲得スルト云フコトハ規
定ガナイヤウデスガ、如何デスカ
○政府委員(神田運君) 此ノ營團ガ強制買
上ヲ爲シマス場合ニハ、何時モ物資統制令
ニ基キマシテ、政府ガ物資ヲ持ツテ居ル者ニ對
シマシテ、此ノ營團ニ讓渡スベキコトヲ命
令致ス譯デアリマス、政府ガ物資統制令ニ
基キマシテ命令スル、斯ウ云フコトニナリ
マス

○塚本清治君 政府ガ統制令ニ依ツテ權力
ヲ行使シテ、所有權ハ個人カラ此ノ營團ヘ
移サセルノデスカ、一旦政府ヲ經ルノデス
カ

○政府委員(神田運君) 先程チヨット申シ
落シマシタノデ、附加ヘテ申上ゲテ置キマ
スガ、政府ガ物資統制令ニ基キマシテ命令
ヲ出シマシテ、讓渡ヲセシメマス場合ト、
尙其ノ外ニ營團ガ政府ノ認可ヲ受ケマシテ
商品ヲ持ツテ居リマス者ニ引渡讓渡ヲ要求ス
ルト云フヤウナ場合モアル譯デアリマスガ、
ソレ等ハ何レモ物資統制令ノ中ニ規定ガア
ル譯デゴザイマス、尙政府ガ買上ゲマシテ、
政府カラ引渡スト云フヤウナコトハ致ス豫
定ニナツテ居リマセヌ

○子爵保科正昭君 先程チヨット伺ヒ殘シ
タコトガアルノデモウ一遍伺ヒマス、此ノ
二千萬圓ト云フ金デ以テ兎ニ角營團ガ製造
者カラ物資ヲ買フト云フ時ニハ、其ノ金ヲ
拂ハナケレバイケナイ、ソレデ二千萬圓ノ
中カラ、或ハソレ以上ニ、二千萬圓ノ資本
金竝ニ其ノ活用ニ依ツテ得タ所ノ金ト云フ
モノカラ物資ヲ買フ、買ツタ物ハ是ハ何時迄
保管スルカ分ラナイノダカラ、ソコデ以テ
社會上詰リ國家狀態ノ適切ナル時ニ之ヲ賣

ル、先程御話ニ依レバ其ノ買ッタ時ノ値段ト、賣ッタ時ノ値段ト同ジニスルト云フコトデアルカラ、其ノ時迄ハ開ガアル、今日買ッテ、今日賣ルト云フコトデナイノデアルカラ、國家ノ情勢ガソレノ必要ニナルト云フ迄ニハ、幾ラカノ時間ガナケレバイケナイ、其ノ爲ニハソコノ所ハドウナリマスカ、私其ノ説明ヲ伺ハナケレバ分ラナイノデスガ、同ジ物ヲ同ジ値段デ賣ッタナラバ、ソレハ相場ガ違ッテシマッテ變ナコトニナリマスカ、ソコイラノ所ヲモウ少シ實際ニ付テ伺ハナイト、眞直グニ流レテ來タモノトノ關係ガ分ラナイ、ソコノ御説明ヲ伺ヒタイ、ソレト同時ニ又資本金ナリ、元ノ會社ノ金ト云フモノハ、サウ云フコトヲスル爲ニハ改訂シナケレバナラナイ、詰リ無クナレバ増資カ、補給カシテ貰ヒ、又ソレヲ使ッテシマヘバ補給ヲシナケレバイケナイ、又回收スルノモアルガ、ソレノ經濟ハドウナルノデアリマスカ、ソコノ所ヲ一ツ御説明願ヒタイ

○政府委員(神田運君) 此ノ營團ガ品物ヲ買ヒマス時ニハ、此ノ二千萬圓ノ資本金ヲ原則トシマシテハ使用シナイノデアリマシテ、買ヒマス金ニ要スル資金ヲ、銀行其ノ他ノ金融機關カラ借受ケマシテ、品物ヲ買フ譯デアリマス、買ヒマス時ニハ公定價格、又ハ協定價格デ買フ譯デアリマス、ソレヲ一定期間持チマシテ、次ニ之ヲ必要ナ方面ニ流ス、場合ニ依リマスト其ノ間ニ金利、倉敷、ソレカラ破損ノ程度ト云フヤウナコトモ起ッテ參ル譯デアリマスカ、サウ云ッタモノハ政府ガ其ノ補填ヲシテヤル、斯ウ云フコトニナル譯デアリマス、ソレカラ流ス場合ニ賣リマス値段ハ、大體其ノ時ノ公定

價格、協定價格ト云フモノニ從ッテヤル譯デアリマス、從ッテ今ノヤウナ時代ニ於キマシテハ、サウ公定價格、協定價格ガ非常ニ頻繁ニ變動シマセヌノデ、大體、先程ハ原則トシマシテ其ノ間ニ出入リガナイト、斯ウ申上ゲタ譯デスガ、尙嚴格ニ申上ゲマスカラバ、其ノ間ニ公定價格ガ或ハ上リマシタリ、或ハ引下ゲガ行ハレタリスルヤウナ場合モ想定出來ル譯デアリマスカ、サウ云ッタ場合ニハ、ソコニ損得ノ關係ガ多少ハ出テ來ルダラウト思ヒマス、ソレ等ニ付キマシテハ政府ガ補填金ヲ出シマス場合ニ、ソレ等ノ出入リ勘定ト云フモノヲ勘定ニ入レマシテ、決濟ヲ著ケル、斯ウ云フコトニナリマシテ、營團トシマシテハ、何レニシマシテモ、ソレニ依ッテ利益金ト云フモノガ入ル、或ハ損失金ノ負擔ヲ負フト云フコトハナイト云フ勘定ニ致シテ居ル譯デアリマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ドウデスカ、此ノ質問ハマダ終ラヌヤウデアリマスカ、此ノ程度ニ之ヲ今日ハ止メテ置キマシテ、明日更ニ御質問願フコトニ致シマシテ、海軍ノ方ノ御方ガ見エテ居リマスカラ、御説明ヲ承クダラ如何デセウ、陸軍ノ方モ見エテ居リマス、ドチカラデモ宜シウゴザイマス、速記ヲ止メテ下サイ

午後二時五十三分速記中止

午後三時十八分速記開始

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ速記ヲ始メテ下サイ、今日ハ此ノ程度ニ止メテ置キマシテ、明日ハ午前中ニ大藏大臣ノ豫算ニ關スル御演説ガアルト思ヒマスノデ、午前中ヲ休ミマシテ、午後一時半カラ開會

致シマス、今日ハ是デ散會致シマス

午後三時十九分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵兒玉 秀雄君
副委員長 伯爵深尾隆太郎君
委員 公爵桂 廣太郎君

伯爵中山 輔親君

侯爵池田 宣政君

子爵保科 正昭君

子爵岡部 長景君

子爵松平 忠壽君

子爵河瀨 眞君

子爵三島 通陽君

水野鍊太郎君

藤原銀次郎君

塚本 清治君

男爵周布 兼道君

白根 竹介君

男爵益田 太郎君

男爵西 西乙君

倉知 鐵吉君

富田 健治君

野村 徳七君

中山 太一君

出光 佐三君

古莊健次郎君

國務大臣 商工大臣 岸 信介君

政府委員 大藏次官 谷口 恒二君

陸軍少將 佐藤 賢了君

海軍大佐 高木 惣吉君

商工省總務局長 神田 逕君

商工省鑛產局長 津田 廣君

燃料局長官 楠瀬 常猪君
燃料局事務官 畠中 大輔君
同 山口 眞澄君